

**確定拠出年金加入者の投資運用実態調査
調査報告書**

2008年 3月

NPO法人確定拠出年金教育協会

目次

調査概要	-----	1
(調査目的、調査設計、標本特性)		
調査要約	-----	2
調査結果のまとめ		
退職後の生活設計認識	-----	5
資産運用に関する理解状況	-----	10
運用商品の選定基準	-----	12
元本確保派 VS. 投資信託派	-----	14
確定拠出年金における資産運用の現状	-----	15
資産配分の変更	-----	23
CC / Webの利用状況	-----	26
「残高のお知らせ」の評価	-----	30
今後知りたい情報内容	-----	33
望まれる情報入手方法	-----	35
社内セミナー、講習会(継続教育)の実施	-----	38
資産運用相談サービスの利用意向	-----	42
投資信託について	-----	44
追加希望の投資信託商品	-----	49
投資や運用に関する正誤問題	-----	50

調査概要

1. 調査目的

確定拠出年金の加入者に対してコミュニケーション実態と商品に関する意識調査を実施し、加入者の認知・理解、制度に対する関与の状況を把握することで今後の当該業務推進での基礎資料とする。特に、今回の調査は、継続教育の評価、確定拠出年金制度の投資商品メリットの認知確認等に着目し、コミュニケーション施策に反映できるものとする。

2. 調査設計

確定拠出年金を導入後1年以上経過し、かつ従業員数1000人以上の一部上場企業を対象として、業種、受託運営管理機関等が異なるよう選定を行った。

1) 調査対象企業及び配布数、回収数

業種	配布数	回収数	調査対象サンプル
電力・ガス	400	305	292
電気機器	1000	554	308
繊維	1000	685	305
食品	1600	1494	316
情報・通信	8940	2063	316
	12940	5101	1537

2) 調査時期 : 2008年1月上旬 ~ 2月下旬

3) 調査方法 : 社内または自宅留置による自記入アンケート方式

4) 調査主体 : NPO法人確定拠出年金教育協会

5) 集計分析 : NPO法人確定拠出年金教育協会

6) 協賛 : 三菱UFJ投信・三菱東京UFJ銀行・三菱UFJ信託銀行

調査要約

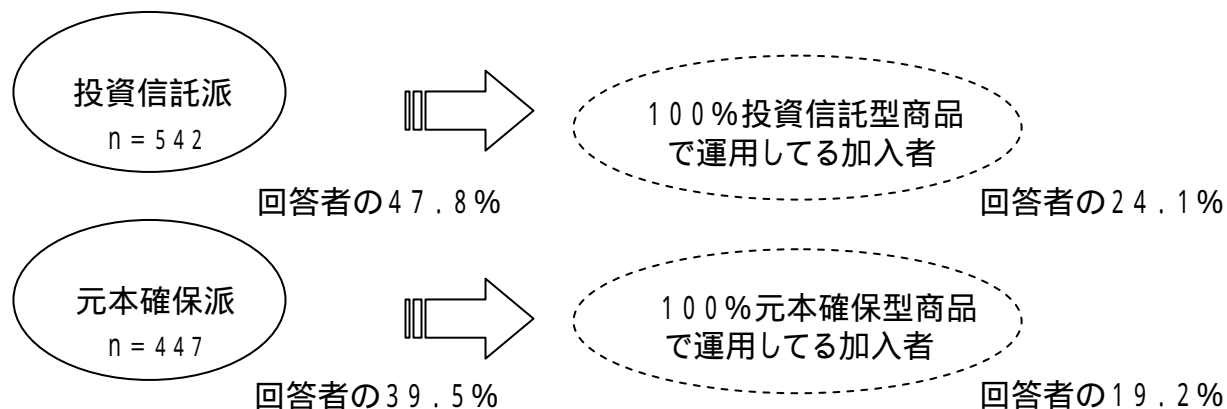
性・世代別で異なる資産運用タイプ (投資信託派 VS . 元本確保派)

確定拠出年金制度加入者が実際に運用する商品構成比でみると、投資信託商品が元本確保商品を上回る結果となっている。

投資信託派(運用商品で投資信託商品の配分割合の合計が50%を超える加入者)は、回答者比率で47.8%を占めるのに対して、元本確保派(運用商品で元本確保商品の配分割合の合計が50%を超える加入者)は39.5%となっている。

また、100%投資信託型商品で運用してる加入者は回答者比率で24.1%を占め、100%元本確保型商品の加入者は19.2%となっている。

投資信託派は、男性の40代未満で半数を超えて多くなっている。一方、元本確保派は、男性の50代と女性全般で多く占められている。



運用商品の構成比回答者(1133人)

若年層で希薄な退職後の生活設計と確定拠出年金制度認識

今回の調査対象者は、大企業中心であるが、退職後の生活設計、確定拠出年金への普段の認識理解で世代間格差が認められた。退職金・公的年金の知識が20代を中心とした若年層、特に、女性で知らないとする傾向が顕著となっている。

確定拠出年金制度に関わる具体的な給付金額、退職時での資産到達額、必要な生活費等への認識は、男女共に20代を中心とした若年層で低率となっている。この傾向は、配偶者がいる場合も同様で、世代間での格差は明確となっている。

また、資産運用での想定利回り、毎月の拠出金額についての知識も若年層で極端に低くなっており、確定拠出年金の目標設定や運用の狙いについての意識まで到達していないことがうかがわれる。

同時に、「残高のお知らせ」の閲覧状況、内容理解でも男女共に若年層で低率となって、確定拠出年金に加入しているものの日常での運用意識は希薄となっている。

高齢層での投資信託運用に結びつかない保守傾向

今回の調査では、50代の消極的な投資信託運用が目立っている。男女ともに50代では元本確保派が中心となっているが、その運用行動には質的な相違がみられる。男性50代では、資産運用・金融商品に関する全般での意識、理解、行動等ではある程度の知識を有し、定年・退職が身近な問題であることを反映し、前記の若年層とは対極の関係となっている。一方、女性50代では、退職後の意識はあるものの、資産運用の理解、行動の面では、男女合わせた全世代で最も低い傾向を示している。

男性50代は、資産配分の変更経験も高く、インターネットへのアクセスも平均的で、投資や運用に関する正誤問題でも平均値となっている。しかし、投資信託派が全世代で最低の3割にとどまっていることは、年齢からくる金融商品への不安・防御本能が働き、積極的な投資信託運用での障害となっていることがうかがわれる。

一方、女性50代は、確定拠出年金制度の理解、資産配分の変更経験、インターネットでのアクセス、投資や運用に関する正答率等が低く、資産運用での知識の欠如が投資信託運用に結びついていないことが理解できる。

資産運用行動の障害となっている確定拠出年金制度の無理解

確定拠出年金投資商品の運用メリット認知では、半数を超える認知項目が皆無であり、確定拠出年金制度のメリットが如何に理解されていないかが明らかとなっている。同時に、制度そのものへの無理解を浮き彫りにしている。

「運用時には税金がかからない」や手数料での優位点等を具体的に提示した認知状況は、過半数の認知に達せず周知徹底がなされていないことが理解できる。税制優遇は、確定拠出年金制度の大きな特徴であり、制度的メリットの周知は、加入者の運用行動にも結びついている。

実際、投資や運用に関する正誤問題では、正答者の多い性・年代の層で投資信託派の比率が高くなって、運用知識と運用行動がダイレクトに結びついていること物語っている。

継続教育の必要性とテキスト / コンテンツの見直し・改良

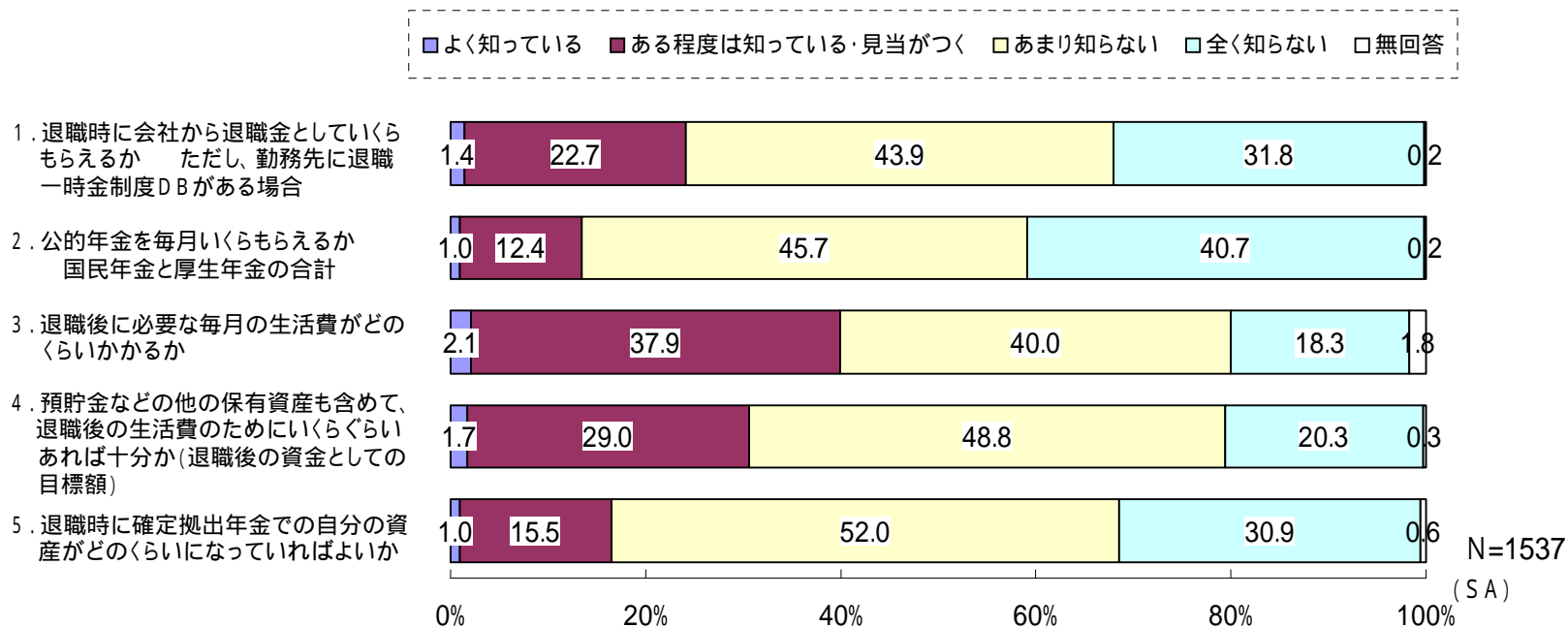
前項の確定拠出年金制度のメリット訴求での不徹底を捉えると、技術面での継続教育以前の問題として、導入時での教育項目の再周知の徹底が重要となっている。また、セミナー、講習会等の自社での継続教育を実施しているか、否かを知らない加入者が全体で2割いることを踏まえると、加入者の視点に立った柔軟性のあるプログラム開発が必要となっている。

社内セミナー、講習会(継続教育)等の満足度では、満足している(「非常に満足している」+「満足している」)との回答が4分の1弱にとどまっている。また、実施開催の認知状況と考えあわせると、現時点での継続教育は、加入者に照準を合わせたものとはなっていない。

また、社内セミナー、講習会(継続教育)の不満足理由では、「教わった内容が運用に役立っていない」の回答が全体で3割弱で最も多くなっている。特に、投資信託派の比率が4割と高くなっていることは象徴的となっている。

今後の継続教育を考えた場合、制度の基本的なメリット確認とともに、加入者の理解レベルに対応したコンテンツ内容でのクラス分けは必要で、若年層向け、高齢者向け、資産運用タイプ(運用商品)別等での加入者の資産運用状況に適応させたプログラム開発が重要な課題となる。

Q1 退職後の生活設計認識



退職後に必要な生活費、また、会社からの退職金は、生活実感としてある程度推測が可能なものの、確定拠出年金制度に関わる具体的な給付金額、退職時での資産の到達額に関する知識は全体的に低率となっている。つまり、今回の調査対象者である大企業の従業員が、自身の退職金・公的年金等の知識を持っていないかが非常に理解できる。

Q1 退職後の生活設計認識

1. 退職時に会社から退職金としていくらかもらえるか ただし、勤務先に退職一時金制度DBがある場合

			サンプル数	よく知っている	ある程度は知っている・見当がつく	あまり知らない	全く知らない	無回答
全体			1537	1.4%	22.7%	43.9%	31.8%	0.2%
性・年齢	男性	20代	159	2.5%	13.8%	40.9%	42.8%	0.0%
		30代	459	0.9%	18.5%	46.6%	33.8%	0.2%
		40代	393	1.5%	24.9%	50.1%	23.4%	0.0%
		50代	215	3.3%	43.7%	35.8%	16.7%	0.5%
	女性	20代	101	0.0%	6.9%	37.6%	55.4%	0.0%
		30代	107	0.0%	18.7%	39.3%	42.1%	0.0%
		40代	78	0.0%	21.8%	42.3%	35.9%	0.0%
		50代	25	4.0%	24.0%	32.0%	36.0%	4.0%

性・年齢別では、退職金・公的年金の知識が20代を中心とした若年層、特に女性で知らないとする傾向が顕著となっている。

2. 公的年金を毎月いくらかもらえるか 国民年金と厚生年金の合計

			サンプル数	よく知っている	ある程度は知っている・見当がつく	あまり知らない	全く知らない	無回答
全体			1537	1.0%	12.4%	45.7%	40.7%	0.2%
性・年齢	男性	20代	159	1.9%	10.7%	38.4%	49.1%	0.0%
		30代	459	0.9%	8.9%	49.9%	40.1%	0.2%
		40代	393	0.3%	14.2%	49.1%	36.4%	0.0%
		50代	215	1.9%	27.4%	45.6%	24.7%	0.5%
	女性	20代	101	0.0%	2.0%	31.7%	66.3%	0.0%
		30代	107	0.9%	3.7%	41.1%	54.2%	0.0%
		40代	78	0.0%	11.5%	41.0%	46.2%	1.3%
		50代	25	8.0%	12.0%	52.0%	28.0%	0.0%

3. 退職後に必要な毎月の生活費がどのくらいかかるか

			サンプル数	よく知っている	ある程度は知っている・見当がつく	あまり知らない	全く知らない	無回答
全体			1537	2.1%	37.9%	40.0%	18.3%	1.8%
性・年齢	男性	20代	159	3.8%	28.3%	34.0%	33.3%	0.6%
		30代	459	1.3%	29.6%	47.3%	20.5%	1.3%
		40代	393	1.8%	40.7%	42.7%	12.7%	2.0%
		50代	215	2.3%	58.1%	27.4%	7.9%	4.2%
	女性	20代	101	1.0%	26.7%	41.6%	30.7%	0.0%
		30代	107	1.9%	34.6%	39.3%	21.5%	2.8%
		40代	78	5.1%	48.7%	32.1%	14.1%	0.0%
		50代	25	4.0%	56.0%	32.0%	8.0%	0.0%

4. 預貯金などの他の保有資産も含めて、退職後の生活費のためにいくぐらいあれば十分か(退職後の資金としての目標額)

			サンプル数	よく知っている	ある程度は知っている・見当がつく	あまり知らない	全く知らない	無回答
全体			1537	1.7%	29.0%	48.8%	20.3%	0.3%
性・年齢	男性	20代	159	3.8%	23.9%	40.9%	30.8%	0.6%
		30代	459	1.3%	21.4%	54.9%	22.2%	0.2%
		40代	393	1.0%	32.1%	52.7%	14.2%	0.0%
		50代	215	2.3%	45.6%	42.3%	8.8%	0.9%
	女性	20代	101	0.0%	15.8%	44.6%	39.6%	0.0%
		30代	107	1.9%	26.2%	44.9%	27.1%	0.0%
		40代	78	3.8%	38.5%	39.7%	17.9%	0.0%
		50代	25	0.0%	44.0%	44.0%	12.0%	0.0%

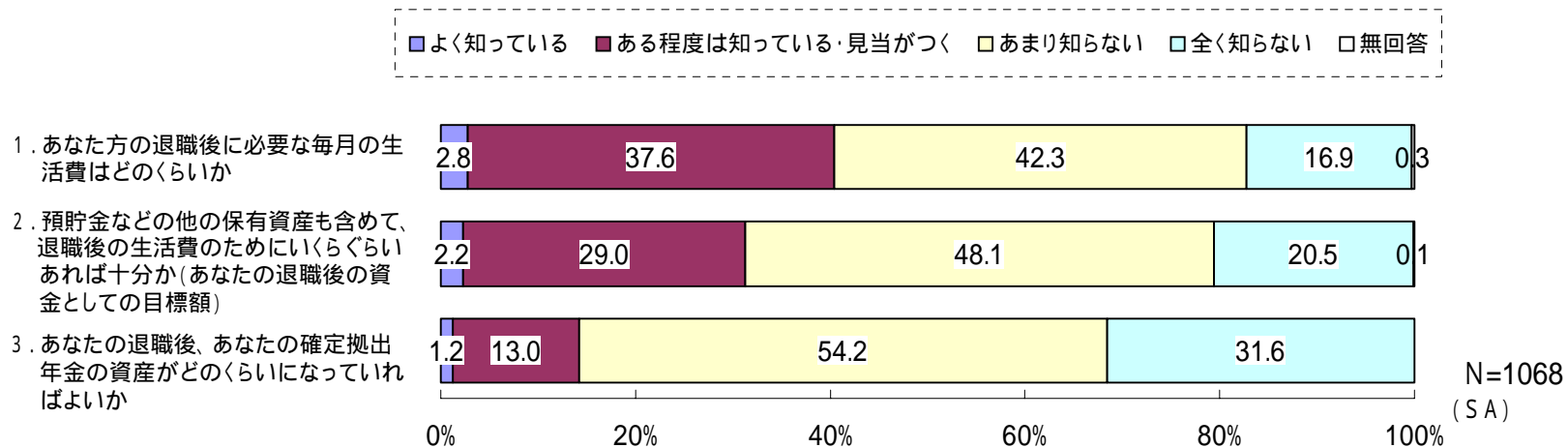
(S A)

5. 退職時に確定拠出年金での自分の資産がどのくらいになっていけばよいか

			サンプル数	よく知っている	ある程度は知っている・見当がつく	あまり知らない	全く知らない	無回答
全体			1537	1.0%	15.5%	52.0%	30.9%	0.6%
性・年齢	男性	20代	159	1.9%	14.5%	44.0%	39.0%	0.6%
		30代	459	0.9%	12.2%	54.7%	32.0%	0.2%
		40代	393	0.5%	16.8%	57.0%	25.2%	0.5%
		50代	215	1.9%	26.0%	51.6%	18.6%	1.9%
	女性	20代	101	0.0%	3.0%	39.6%	57.4%	0.0%
		30代	107	1.9%	11.2%	47.7%	38.8%	0.9%
		40代	78	0.0%	23.1%	48.7%	28.2%	0.0%
		50代	25	0.0%	16.0%	60.0%	24.0%	0.0%

(S A)

Q1SQ1 退職後の生活設計認識(配偶者がいる場合)



配偶者がいる対象者に限定した回答でも、前述の全体傾向と同様の結果となっている。特に、退職時での資産の到達額に関する知識は全体的に低率となって、全体結果との比較でも格差はみられない。

Q1SQ1 退職後の生活設計認識(配偶者がいる場合)

1. あなた方の退職後に必要な毎月の生活費はどのくらいか

		サンプル数	よく知っている	ある程度は知っている・見当がつく	あまり知らない	全く知らない	無回答	
全体		1068	2.8%	37.6%	42.3%	16.9%	0.3%	
性・年齢	男性	20代	59	0.0%	23.7%	42.4%	33.9%	0.0%
		30代	357	2.0%	28.0%	51.5%	18.5%	0.0%
		40代	336	2.1%	37.8%	42.9%	17.3%	0.0%
		50代	192	4.2%	56.3%	32.3%	5.7%	1.6%
	女性	20代	29	0.0%	41.4%	17.2%	41.4%	0.0%
		30代	48	2.1%	37.5%	39.6%	20.8%	0.0%
		40代	36	13.9%	44.4%	30.6%	11.1%	0.0%
		50代	11	18.2%	63.6%	18.2%	0.0%	0.0%

(SA)

性・年齢別では、前述の全体傾向と同様、20代を中心とした若年層、特に女性で知らないとする傾向が顕著となっている。

2. 預貯金などの他の保有資産も含めて、退職後の生活費のためにいくらかあれば十分か(あなたの退職後の資金としての目標額)

		サンプル数	よく知っている	ある程度は知っている・見当がつく	あまり知らない	全く知らない	無回答	
全体		1068	2.2%	29.0%	48.1%	20.5%	0.1%	
性・年齢	男性	20代	59	1.7%	20.3%	44.1%	33.9%	0.0%
		30代	357	2.0%	22.7%	51.8%	23.5%	0.0%
		40代	336	1.2%	26.2%	51.2%	21.4%	0.0%
		50代	192	2.6%	46.9%	43.2%	6.8%	0.5%
	女性	20代	29	0.0%	31.0%	27.6%	41.4%	0.0%
		30代	48	2.1%	29.2%	41.7%	27.1%	0.0%
		40代	36	11.1%	33.3%	41.7%	13.9%	0.0%
		50代	11	18.2%	36.4%	45.5%	0.0%	0.0%

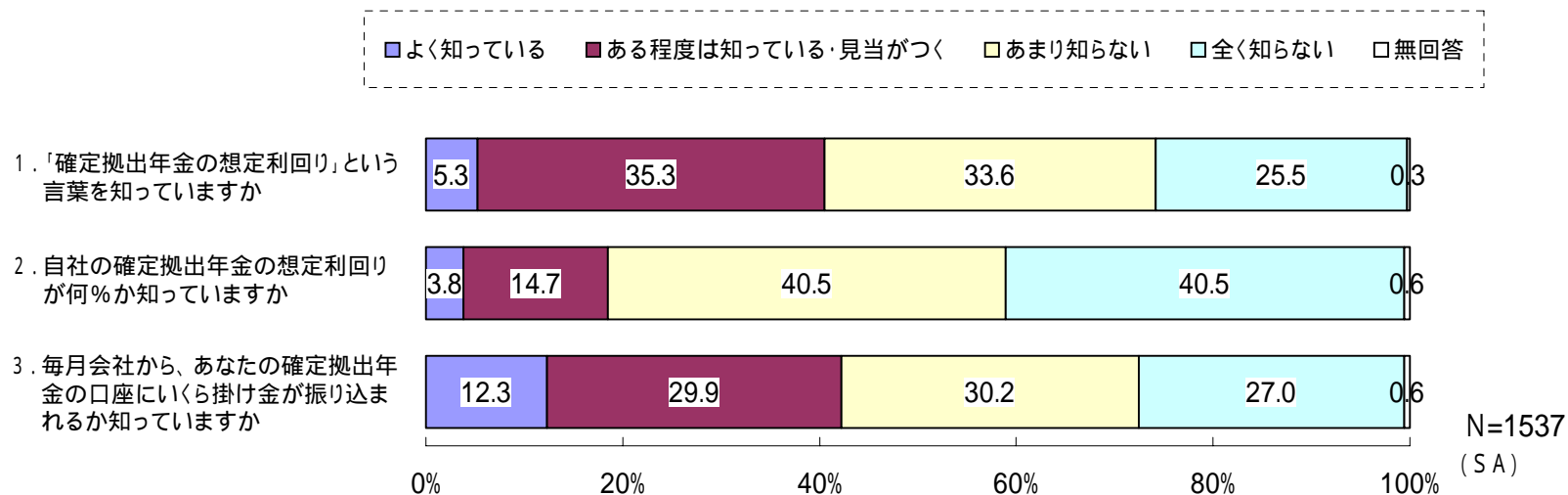
(SA)

3. あなたの退職後、あなたの確定拠出年金の資産がどのくらいになっていればよいか

		サンプル数	よく知っている	ある程度は知っている・見当がつく	あまり知らない	全く知らない	無回答	
全体		1068	1.2%	13.0%	54.2%	31.6%	0.0%	
性・年齢	男性	20代	59	1.7%	16.9%	42.4%	39.0%	0.0%
		30代	357	1.1%	11.2%	53.2%	34.5%	0.0%
		40代	336	0.9%	11.6%	55.1%	32.4%	0.0%
		50代	192	1.6%	16.1%	61.5%	20.8%	0.0%
	女性	20代	29	0.0%	6.9%	41.4%	51.7%	0.0%
		30代	48	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%
		40代	36	2.8%	19.4%	52.8%	25.0%	0.0%
		50代	11	9.1%	18.2%	54.5%	18.2%	0.0%

(SA)

Q2 資産運用に関する理解状況



「確定拠出年金の想定利回り」の用語認知では過半数が知らないと回答し、想定利回り比率までの認知者は、2割以下にとどまっている。また、毎月の拠出金額でも6割弱の加入者が知らないと回答し、確定拠出年金の目標設定や運用の狙いについての意識が希薄であることを物語っている。

Q2 資産運用に関する理解状況

1. 「確定拠出年金の想定利回り」という言葉を知っていますか

			サンプル数	よく知っている	ある程度は知っている・見当がつく	あまり知らない	全く知らない	無回答
全体			1537	5.3%	35.3%	33.6%	25.5%	0.3%
性・年齢	男性	20代	159	8.2%	29.6%	27.0%	35.2%	0.0%
		30代	459	4.6%	31.8%	35.7%	27.5%	0.4%
		40代	393	5.9%	45.5%	31.8%	16.5%	0.3%
		50代	215	7.4%	41.4%	36.3%	14.4%	0.5%
	女性	20代	101	1.0%	21.8%	28.7%	48.5%	0.0%
		30代	107	0.0%	24.3%	38.3%	36.4%	0.9%
		40代	78	6.4%	35.9%	34.6%	23.1%	0.0%
		50代	25	8.0%	20.0%	40.0%	32.0%	0.0%

性・年齢別では、想定利回り・毎月の拠出金額の認知が20代を中心とした若年層、特に女性で知らないとする傾向が顕著となっている。

(SA)

2. 自社の確定拠出年金の想定利回りが何%か知っていますか

			サンプル数	よく知っている	ある程度は知っている・見当がつく	あまり知らない	全く知らない	無回答
全体			1537	3.8%	14.7%	40.5%	40.5%	0.6%
性・年齢	男性	20代	159	4.4%	17.6%	28.9%	49.1%	0.0%
		30代	459	4.1%	11.3%	39.9%	44.0%	0.7%
		40代	393	5.1%	14.8%	51.9%	27.7%	0.5%
		50代	215	3.7%	25.1%	45.6%	24.2%	1.4%
	女性	20代	101	0.0%	5.0%	26.7%	68.3%	0.0%
		30代	107	0.0%	11.2%	30.8%	57.0%	0.9%
		40代	78	3.8%	19.2%	30.8%	46.2%	0.0%
		50代	25	4.0%	8.0%	28.0%	60.0%	0.0%

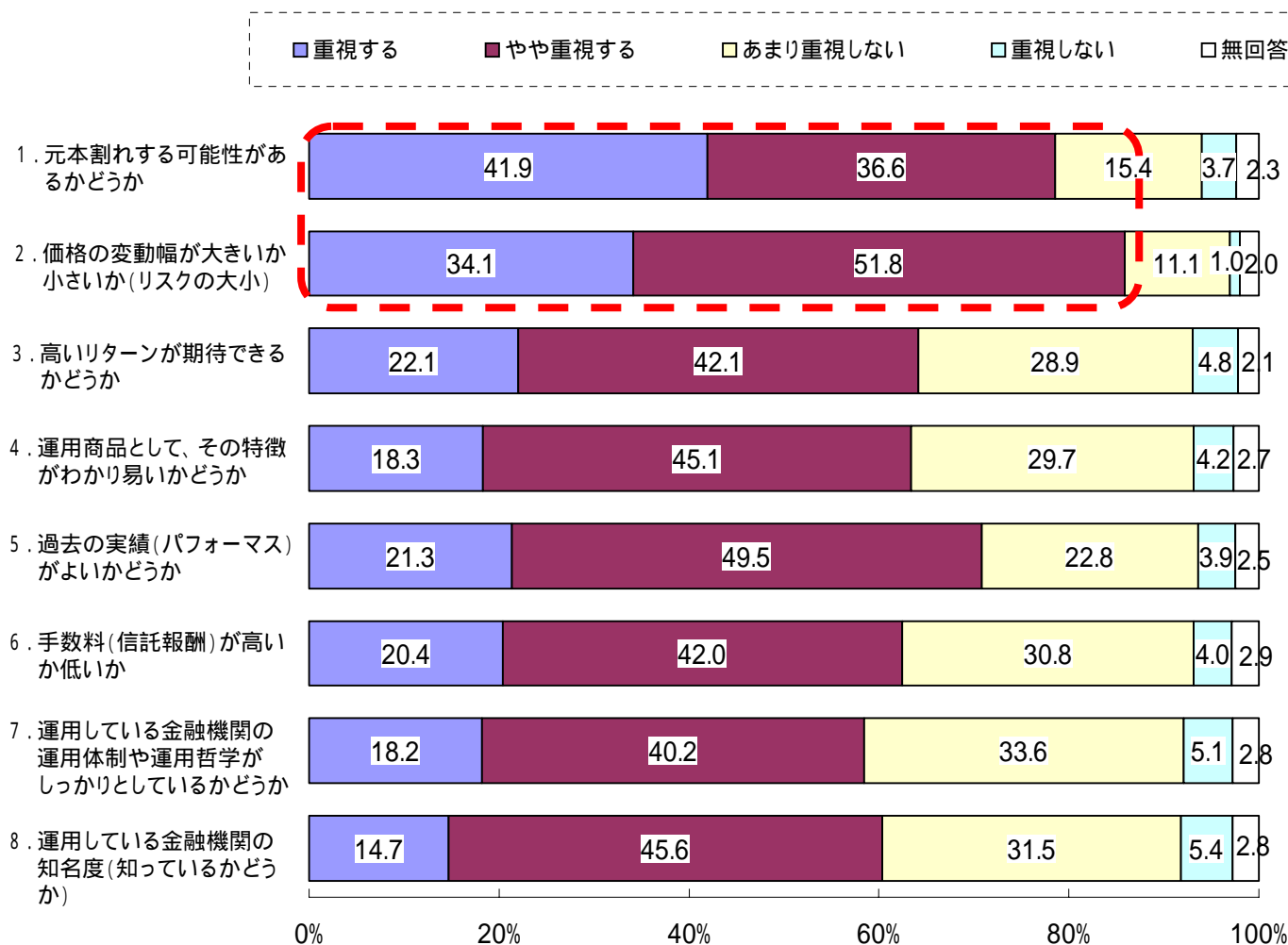
(SA)

3. 毎月会社から、あなたの確定拠出年金の口座にいくらか掛け金が振り込まれるか知っていますか

			サンプル数	よく知っている	ある程度は知っている・見当がつく	あまり知らない	全く知らない	無回答
全体			1537	12.3%	29.9%	30.2%	27.0%	0.6%
性・年齢	男性	20代	159	13.8%	29.6%	23.3%	33.3%	0.0%
		30代	459	12.4%	29.8%	28.1%	29.0%	0.7%
		40代	393	12.0%	32.8%	33.3%	20.9%	1.0%
		50代	215	15.3%	31.6%	34.4%	18.1%	0.5%
	女性	20代	101	8.9%	17.8%	30.7%	42.6%	0.0%
		30代	107	6.5%	29.9%	29.9%	32.7%	0.9%
		40代	78	14.1%	32.1%	26.9%	26.9%	0.0%
		50代	25	12.0%	16.0%	36.0%	36.0%	0.0%

(SA)

Q3 運用商品の選定基準



N=1537
(SA)

「価格の変動幅」「元本割れする可能性」のリスク要因を8割前後で重視するとし、大きな選定基準となっている。

Q3 SQ1 最も重視する運用商品の選定基準

			サンプル数	1.元本割れする可能性があるかどうか	2.価格の変動幅が大きい小さいか(リスクの大小)	3.高いリターンが期待できるかどうか	4.運用商品として、その特徴がわかり易いかどうか	5.過去の実績(パフォーマンス)がよいかどうか	6.手数料(信託報酬)が高いか低い	7.運用している金融機関の運用体制や運用哲学	8.運用している金融機関の知名度	無回答
全体			1537	33.4%	16.0%	20.1%	5.0%	8.4%	2.1%	5.7%	1.4%	7.8%
性・年齢	男性	20代	159	20.8%	18.2%	23.9%	5.0%	13.2%	5.7%	6.9%	0.6%	5.7%
		30代	459	33.3%	13.5%	22.7%	5.2%	9.4%	2.6%	3.9%	1.3%	8.1%
		40代	393	31.6%	16.5%	24.4%	4.8%	6.9%	1.5%	5.1%	1.5%	7.6%
		50代	215	34.0%	18.6%	17.2%	5.6%	5.6%	0.9%	5.1%	2.3%	10.7%
	女性	20代	101	49.5%	12.9%	11.9%	2.0%	6.9%	0.0%	6.9%	3.0%	6.9%
		30代	107	34.6%	22.4%	11.2%	8.4%	8.4%	0.0%	8.4%	0.0%	6.5%
		40代	78	39.7%	14.1%	11.5%	3.8%	11.5%	3.8%	10.3%	0.0%	5.1%
		50代	25	52.0%	8.0%	4.0%	0.0%	4.0%	4.0%	16.0%	0.0%	12.0%
拠出残高	50万円未満		398	31.4%	17.8%	21.4%	5.8%	9.8%	2.5%	5.5%	1.0%	4.8%
	50～100万円未満		207	30.9%	16.9%	20.8%	5.3%	11.6%	1.4%	5.8%	1.0%	6.3%
	100～300万円未満		274	30.3%	15.3%	24.8%	6.6%	8.4%	2.9%	5.8%	0.7%	5.1%
	300～500万円未満		65	36.9%	12.3%	24.6%	3.1%	9.2%	1.5%	7.7%	1.5%	3.1%
	500万円以上		42	26.2%	21.4%	31.0%	4.8%	9.5%	2.4%	0.0%	0.0%	4.8%
資産運用タイプ	元本確保派		447	54.4%	17.2%	4.5%	4.5%	3.8%	0.4%	6.5%	2.5%	6.3%
	投資信託派		542	15.9%	17.3%	33.9%	6.5%	13.3%	3.9%	4.4%	0.7%	4.1%
	中間派		144	36.8%	16.0%	18.8%	4.2%	7.6%	1.4%	8.3%	0.0%	6.9%

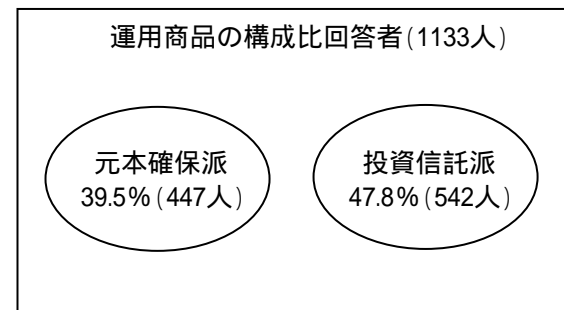
(SA)

運用商品選定時における最重視項目(限定1項目)では、「元本割れする可能性」が3人に1人で最も多く、次いで、「高いリターンが期待できるかどうか」が浮上ることが注目される。性・年齢別では、女性で「元本割れする可能性」の重視度が高くなる傾向ある。拠出残高では、500万円以上で「高いリターンが期待できるかどうか」の重視度が高くなっている。資産運用タイプでは、元本確保派は「元本割れする可能性」、投資信託派は「高いリターンが期待できるかどうか」で重視度が二分されている。

Q4 元本確保派 VS. 投資信託派

			サンプル数	運用商品の構成比回答者	元本確保派	投資信託派	中間派
全体			1537	1133	39.5%	47.8%	12.7%
性・年齢	男性	20代	159	115	25.2%	58.3%	16.5%
		30代	459	313	32.6%	54.6%	12.8%
		40代	393	311	36.0%	51.4%	12.5%
		50代	215	171	58.5%	30.4%	11.1%
	女性	20代	101	64	54.7%	32.8%	12.5%
		30代	107	79	34.2%	49.4%	16.5%
		40代	78	60	50.0%	41.7%	8.3%
		50代	25	20	60.0%	35.0%	5.0%
		50万円未満		398	335	32.2%	54.6%
	50～100万円未満		207	185	30.3%	55.1%	14.6%
100～300万円未満		274	258	39.5%	52.7%	7.8%	
300～500万円未満		65	59	39.0%	50.8%	10.2%	
500万円以上		42	36	36.1%	50.0%	13.9%	

(SA)



元本確保派：元本確保型商品 / 定期預金、生損保
 保険の配分比率合計が50%を超える
 加入者

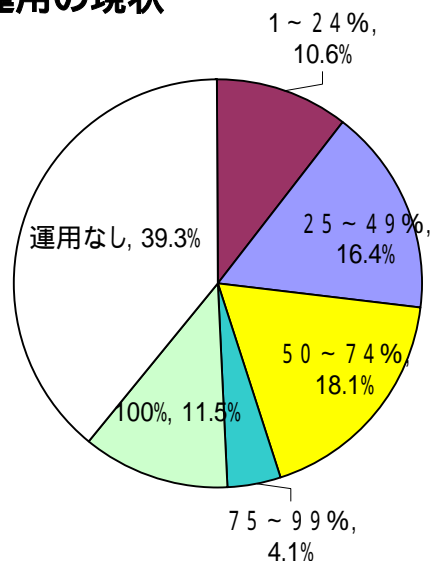
投資信託派：国内債券投資信託、国内株式投資信託、
 海外債券投資信託、海外株式投資信託、
 ライフサイクル型ファンド・バ
 ランス型投信の配分比率合計が50%
 を超える加入者

運用商品の構成比回答者の全体割合では、元本確保派が4割、投資信託派が約半数で、投資信託派が元本確保派を上回っている。

性別では、男性で年代が高くなるほど元本確保派が多くなり50代で約6割となり、逆に、投資信託派は40代未満で半数を超えて多くなっている。女性では、全般に元本確保派の傾向が強くなっている。拠出残高別では、際立った傾向はみられない。

Q4 確定拠出年金における資産運用の現状

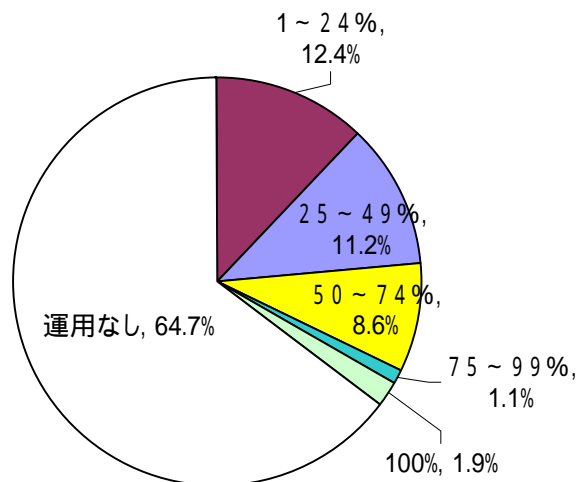
A：定期預金



当該項目の回答者で6割が運用し、運用商品の中では最も高い運用率を示している。運用商品構成比(配分比率)でも50%以上の構成比の回答者が全体で3分の1を占め、基幹商品であることが理解できる。性・年齢別では、男女共に50代で運用比率が高くなる傾向がある。資産運用タイプ別では、元本確保派の約3割が当該商品だけで運用しており、逆に、投資信託派の6割以上は当該商品の運用はない。

			サンプル数	1～24%	25～49%	50～74%	75～99%	100%	運用なし
全体			1133	10.6%	16.4%	18.1%	4.1%	11.5%	39.3%
性・年齢	男性	20代	115	20.0%	20.0%	12.2%	6.1%	7.0%	34.8%
		30代	313	12.5%	16.6%	16.3%	2.2%	10.2%	42.2%
		40代	311	9.6%	17.0%	14.8%	3.5%	8.4%	46.6%
		50代	171	5.3%	11.1%	22.2%	7.0%	21.6%	32.7%
	女性	20代	64	4.7%	18.8%	28.1%	4.7%	18.8%	25.0%
		30代	79	8.9%	17.7%	21.5%	3.8%	6.3%	41.8%
		40代	60	15.0%	16.7%	30.0%	3.3%	8.3%	26.7%
		50代	20	0.0%	15.0%	15.0%	10.0%	25.0%	35.0%
拠出残高	50万円未満		335	12.2%	14.9%	16.7%	4.5%	9.0%	42.7%
	50～100万円未満		185	12.4%	17.3%	16.8%	2.7%	7.0%	43.8%
	100～300万円未満		258	12.4%	14.7%	17.1%	3.5%	7.4%	45.0%
	300～500万円未満		59	5.1%	16.9%	11.9%	8.5%	13.6%	44.1%
	500万円以上		36	5.6%	22.2%	22.2%	11.1%	8.3%	30.6%
資産運用タイプ	元本確保派		447	2.5%	13.4%	30.0%	10.5%	29.1%	14.5%
	投資信託派		542	18.6%	17.0%	0.6%	0.0%	0.0%	63.8%
	中間派		144	5.6%	23.6%	47.2%	0.0%	0.0%	23.6%

B : 生損保保険

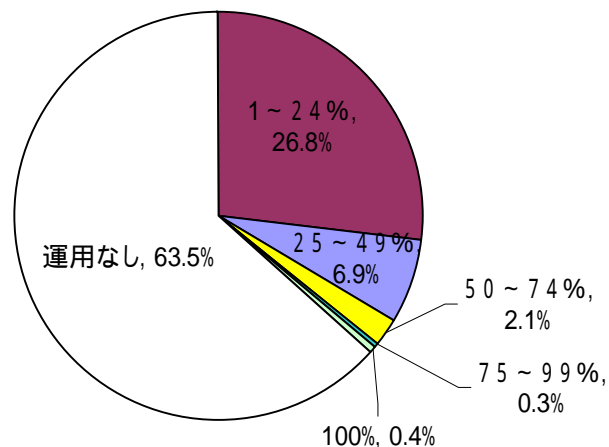


回答者の3分の1強が、当該商品を運用している。運用商品構成比(配分比率)では、50%未満が過半数を占め、定期預金と比較すると当商品を主力商品におく加入者は少なくなっている。資産運用タイプ別では、投資信託派の運用率が低くなっていることが目立っている。

			サンプル数	1~24%	25~49%	50~74%	75~99%	100%	運用なし
全体			1133	12.4%	11.2%	8.6%	1.1%	1.9%	64.7%
性・年齢	男性	20代	115	12.2%	7.0%	7.8%	1.7%	0.0%	71.3%
		30代	313	14.4%	10.5%	6.7%	1.0%	1.3%	66.1%
		40代	311	13.2%	13.2%	9.6%	1.6%	1.9%	60.5%
		50代	171	6.4%	11.7%	11.1%	1.8%	4.7%	64.3%
	女性	20代	64	9.4%	9.4%	9.4%	0.0%	0.0%	71.9%
		30代	79	16.5%	13.9%	7.6%	0.0%	0.0%	62.0%
		40代	60	13.3%	13.3%	10.0%	0.0%	3.3%	60.0%
		50代	20	10.0%	0.0%	5.0%	0.0%	10.0%	75.0%
拠出残高	50万円未満		335	9.9%	9.6%	8.1%	0.9%	0.6%	71.0%
	50~100万円未満		185	17.8%	9.2%	7.6%	1.1%	1.6%	62.7%
	100~300万円未満		258	12.0%	15.5%	10.9%	2.3%	2.7%	56.6%
	300~500万円未満		59	13.6%	10.2%	10.2%	1.7%	3.4%	61.0%
	500万円以上		36	11.1%	5.6%	5.6%	0.0%	2.8%	75.0%
資産運用タイプ	元本確保派		447	9.6%	13.6%	15.2%	2.9%	4.9%	53.7%
	投資信託派		542	15.1%	7.2%	0.2%	0.0%	0.0%	77.5%
	中間派		144	10.4%	18.8%	20.1%	0.0%	0.0%	50.7%

(S A)

C : 国内債券投資信託



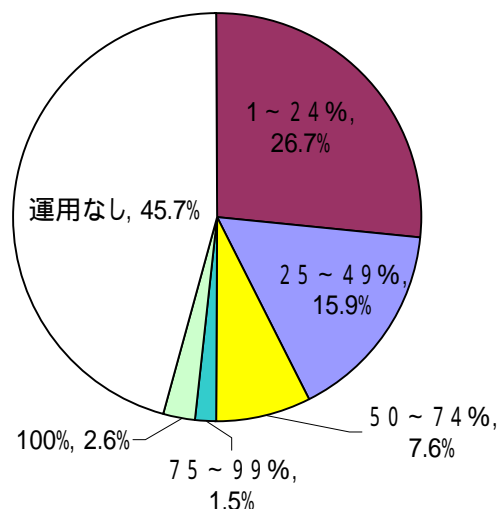
回答者の3分の1強が、当該商品を運用している。運用商品構成比(配分比率)では、50%未満が全体のほとんどを占め、商品構成における位置づけでは、副次的なものとなっている。

性・年齢別では、女性の50代で運用率が低くなっていることが目立っている。

		サンプル数	1~24%	25~49%	50~74%	75~99%	100%	運用なし	
全体		1133	26.8%	6.9%	2.1%	0.3%	0.4%	63.5%	
性・年齢	男性	20代	115	30.4%	8.7%	0.9%	0.9%	0.0%	59.1%
		30代	313	30.0%	6.4%	1.6%	0.0%	1.0%	61.0%
		40代	311	28.0%	6.4%	1.9%	0.0%	0.0%	63.7%
		50代	171	17.0%	9.9%	2.9%	0.6%	0.6%	69.0%
	女性	20代	64	21.9%	6.3%	4.7%	0.0%	0.0%	67.2%
		30代	79	34.2%	5.1%	5.1%	1.3%	0.0%	54.4%
		40代	60	30.0%	3.3%	0.0%	0.0%	1.7%	65.0%
		50代	20	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	95.0%
拠出残高	50万円未満		335	28.7%	5.7%	2.1%	0.6%	0.6%	62.4%
	50~100万円未満		185	34.1%	5.4%	2.7%	0.0%	0.5%	57.3%
	100~300万円未満		258	27.1%	6.2%	1.6%	0.0%	0.0%	65.1%
	300~500万円未満		59	28.8%	8.5%	1.7%	0.0%	0.0%	61.0%
	500万円以上		36	22.2%	5.6%	2.8%	2.8%	0.0%	66.7%
資産運用タイプ	元本確保派		447	22.1%	2.9%	0.2%	0.0%	0.0%	74.7%
	投資信託派		542	29.5%	9.6%	2.6%	0.6%	0.9%	56.8%
	中間派		144	31.3%	9.0%	6.3%	0.0%	0.0%	53.5%

(SA)

D：国内株式投資信託

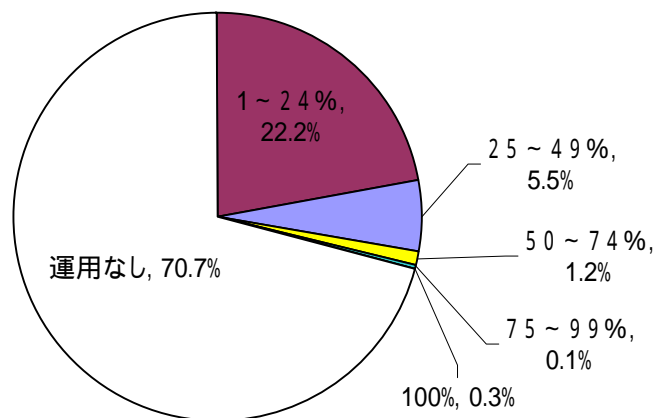


回答者の過半数で当該商品の運用があり、運用率では、元本確保型商品 / 定期預金に次いで比率が高くなっている。運用商品構成比(配分比率)では、50%未満がほとんどとなっている。層別での運用商品構成比(配分比率)では、男性の20代、拠出残高500万円以上、資産運用タイプの投資信託派で構成比が高くなる傾向がうかがわれる。

			サンプル数	1～24%	25～49%	50～74%	75～99%	100%	運用なし
全体			1133	26.7%	15.9%	7.6%	1.5%	2.6%	45.7%
性・年齢	男性	20代	115	28.7%	27.8%	7.0%	2.6%	1.7%	32.2%
		30代	313	28.4%	19.5%	7.7%	0.6%	2.9%	40.9%
		40代	311	28.3%	14.5%	8.7%	2.3%	2.6%	43.7%
		50代	171	20.5%	9.9%	7.0%	0.6%	2.9%	59.1%
	女性	20代	64	28.1%	6.3%	9.4%	0.0%	0.0%	56.3%
		30代	79	29.1%	12.7%	5.1%	0.0%	2.5%	50.6%
		40代	60	25.0%	13.3%	5.0%	6.7%	5.0%	45.0%
		50代	20	5.0%	15.0%	10.0%	0.0%	5.0%	65.0%
拠出残高	50万円未満		335	25.4%	18.8%	7.8%	1.2%	3.0%	43.9%
	50～100万円未満		185	33.0%	16.2%	7.6%	3.2%	1.6%	38.4%
	100～300万円未満		258	27.5%	18.2%	8.1%	1.6%	2.3%	42.2%
	300～500万円未満		59	25.4%	11.9%	13.6%	0.0%	5.1%	44.1%
	500万円以上		36	27.8%	16.7%	16.7%	2.8%	5.6%	30.6%
資産運用タイプ	元本確保派		447	28.9%	3.4%	0.2%	0.0%	0.0%	67.6%
	投資信託派		542	22.5%	26.9%	12.5%	3.1%	5.5%	29.3%
	中間派		144	35.4%	13.2%	11.8%	0.0%	0.0%	39.6%

(SA)

E：海外債券投資信託

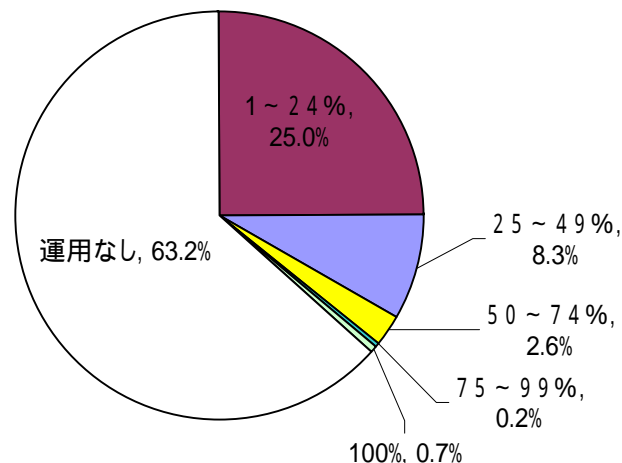


回答者の3割が、当該商品を運用して、運用商品構成比(配分比率)では、25%未満でほとんどが占められている。

			サンプル数	1~24%	25~49%	50~74%	75~99%	100%	運用なし
全体			1133	22.2%	5.5%	1.2%	0.1%	0.3%	70.7%
性・年齢	男性	20代	115	26.1%	9.6%	0.9%	0.0%	0.0%	63.5%
		30代	313	24.6%	6.1%	2.2%	0.0%	0.0%	67.1%
		40代	311	27.7%	6.4%	0.6%	0.0%	1.0%	64.3%
		50代	171	12.3%	2.9%	1.2%	0.6%	0.0%	83.0%
	女性	20代	64	14.1%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	82.8%
		30代	79	22.8%	3.8%	1.3%	0.0%	0.0%	72.2%
		40代	60	18.3%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%
		50代	20	0.0%	5.0%	5.0%	0.0%	0.0%	90.0%
拠出残高	50万円未満		335	21.5%	6.9%	1.8%	0.0%	0.3%	69.6%
	50~100万円未満		185	30.8%	5.4%	0.5%	0.0%	0.0%	63.2%
	100~300万円未満		258	24.0%	5.8%	1.2%	0.0%	0.4%	68.6%
	300~500万円未満		59	22.0%	6.8%	3.4%	0.0%	0.0%	67.8%
	500万円以上		36	13.9%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	77.8%
資産運用タイプ	元本確保派		447	13.4%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	86.4%
	投資信託派		542	28.8%	10.0%	2.4%	0.2%	0.6%	58.1%
	中間派		144	25.0%	4.9%	0.7%	0.0%	0.0%	69.4%

(SA)

F：海外株式投資信託

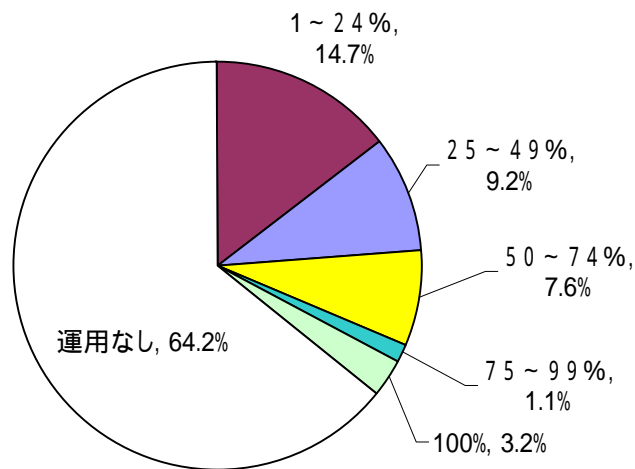


回答者の3分の1強が当該商品を運用し、運用商品構成比(配分比率)では、50%未満でほとんどが占められ、先の海外債券投信と類似した傾向となっている。性・年齢別では、男女共に50代での運用率が低くなっていることが目立っている。

			サンプル数	1~24%	25~49%	50~74%	75~99%	100%	運用なし
全体			1133	25.0%	8.3%	2.6%	0.2%	0.7%	63.2%
性・年齢	男性	20代	115	31.3%	19.1%	1.7%	0.0%	0.0%	47.8%
		30代	313	27.8%	10.9%	3.8%	0.3%	1.6%	55.6%
		40代	311	28.0%	7.7%	4.2%	0.3%	1.0%	58.8%
		50代	171	15.2%	2.9%	1.2%	0.0%	0.0%	80.7%
	女性	20代	64	20.3%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	78.1%
		30代	79	22.8%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	73.4%
40代		60	21.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	70.0%	
50代		20	15.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	80.0%	
拠出残高	50万円未満		335	27.5%	11.9%	2.1%	0.0%	1.5%	57.0%
	50~100万円未満		185	30.8%	7.6%	5.4%	0.0%	0.0%	56.2%
	100~300万円未満		258	26.0%	10.1%	2.7%	0.4%	0.4%	60.5%
	300~500万円未満		59	23.7%	10.2%	1.7%	0.0%	0.0%	64.4%
	500万円以上		36	19.4%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	77.8%
資産運用タイプ	元本確保派		447	16.8%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	83.0%
	投資信託派		542	30.1%	15.9%	5.0%	0.4%	1.5%	47.2%
	中間派		144	31.3%	5.6%	1.4%	0.0%	0.0%	61.8%

(S A)

G : バランス型投信

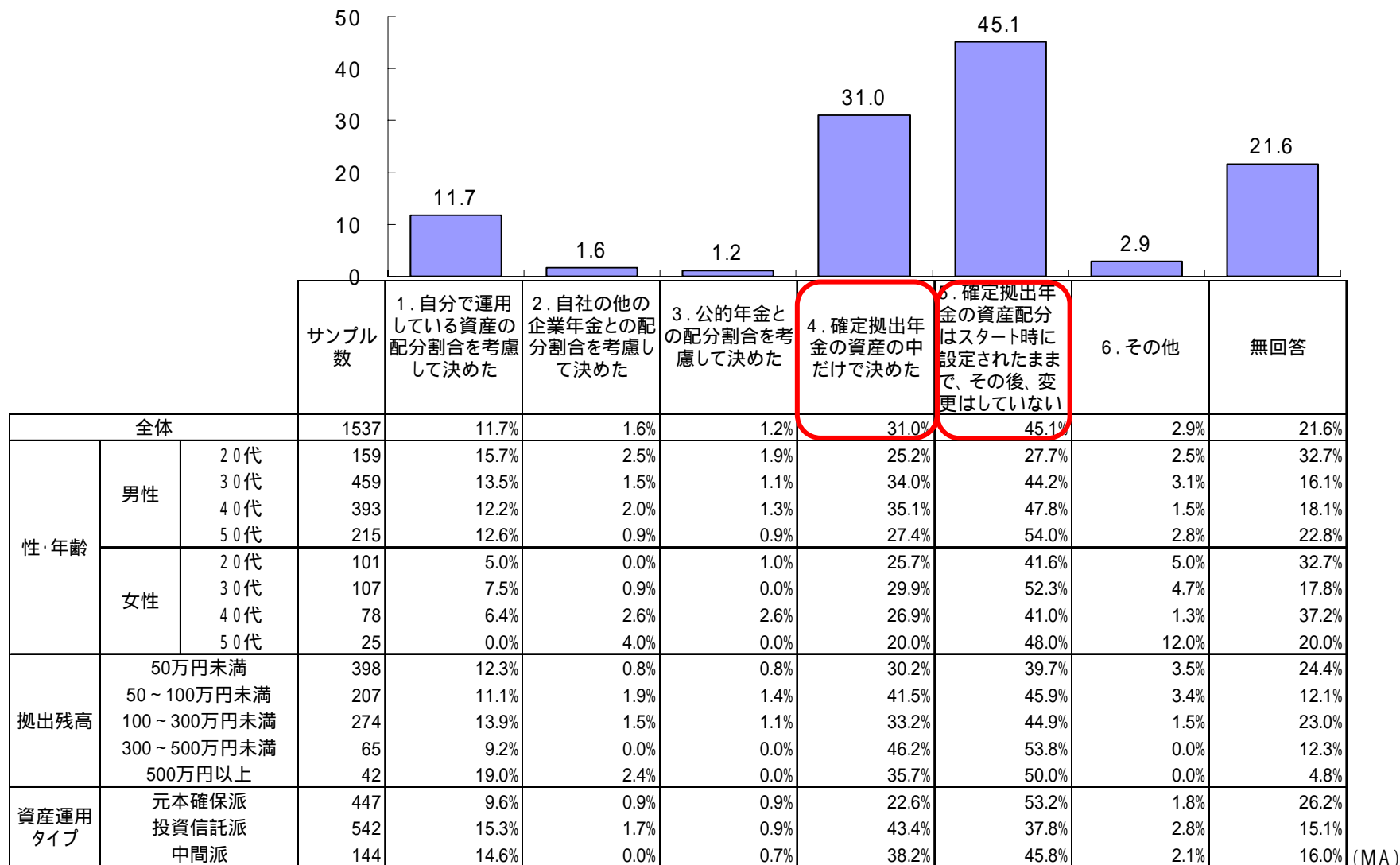


回答者の3分の1強が当該商品を運用し、商品構成比(配分比率)では、50%未満が過半数を占めている。性・年齢別では、女性の50代で運用率が低くなる傾向がうかがわれる。

			サンプル数	1 ~ 24%	25 ~ 49%	50 ~ 74%	75 ~ 99%	100%	運用なし
全体			1133	14.7%	9.2%	7.6%	1.1%	3.2%	64.2%
性・年齢	男性	20代	115	14.8%	11.3%	4.3%	0.9%	3.5%	65.2%
		30代	313	13.7%	7.0%	8.9%	1.0%	2.9%	66.5%
		40代	311	17.4%	11.3%	9.3%	0.3%	3.9%	57.9%
		50代	171	15.2%	5.8%	4.7%	1.8%	1.8%	70.8%
	女性	20代	64	9.4%	7.8%	7.8%	4.7%	3.1%	67.2%
		30代	79	15.2%	13.9%	8.9%	2.5%	6.3%	53.2%
		40代	60	13.3%	11.7%	6.7%	0.0%	0.0%	68.3%
		50代	20	5.0%	5.0%	0.0%	0.0%	5.0%	85.0%
拠出残高	50万円未満		335	14.0%	9.0%	6.9%	2.1%	3.6%	64.5%
	50 ~ 100万円未満		185	14.1%	12.4%	10.3%	1.1%	4.3%	57.8%
	100 ~ 300万円未満		258	19.8%	12.4%	8.9%	0.8%	2.7%	55.4%
	300 ~ 500万円未満		59	16.9%	8.5%	6.8%	0.0%	5.1%	62.7%
	500万円以上		36	13.9%	2.8%	8.3%	0.0%	0.0%	75.0%
資産運用タイプ	元本確保派		447	14.3%	6.0%	0.2%	0.0%	0.0%	79.4%
	投資信託派		542	13.7%	13.1%	10.9%	2.4%	6.6%	53.3%
	中間派		144	20.1%	4.2%	18.1%	0.0%	0.0%	57.6%

(S A)

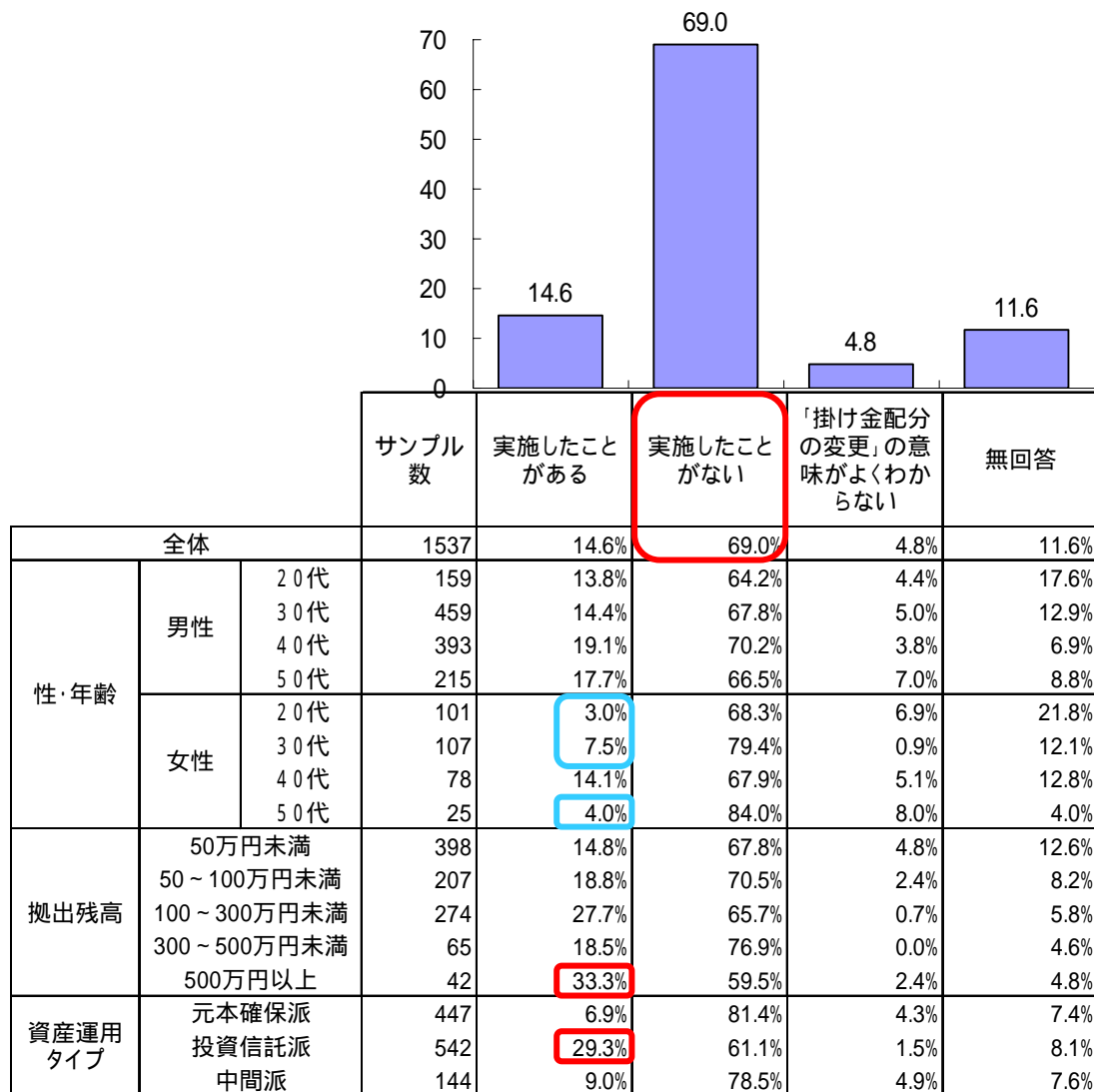
Q4SQ1 資産配分内容の決め方



資産配分内容の決め方は、「確定拠出年金の資産配分はスタート時に限定されたままで、その後、変更はしていない」が最も多く、次いで、「確定拠出年金の資産の中だけで決めた」が多くなっている。つまり、加入者自身の他の資産保有状況に関係なく、確定拠出年金だけで決め、かつ決めると動かない実態がよく理解できる。

Q5 資産配分の変更有無

A : 毎月の掛け金の配分割合の変更について

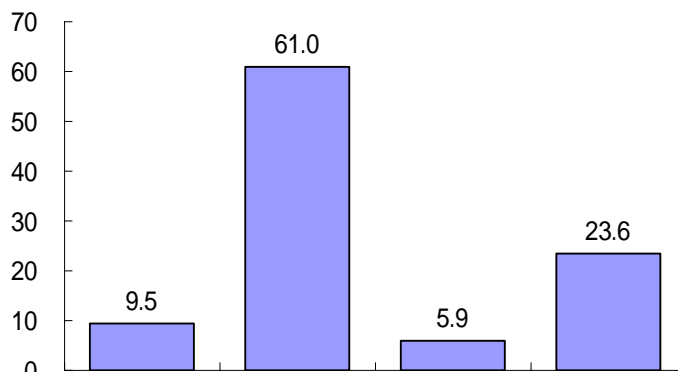


毎月の掛け金の配分割合の変更有無では、実施者が1割台となって、ほとんどの加入者が変更していない。特に、女性の実施率が低くなる傾向にある。また、逆に、実施率が高い層は、拠出残高500万円以上、資産運用タイプでの投資信託派で比率が高くなっていることが目立っている。

(SA)

Q5 資産配分の変更有無

B：積立金の預け替えについて(スイッチング)

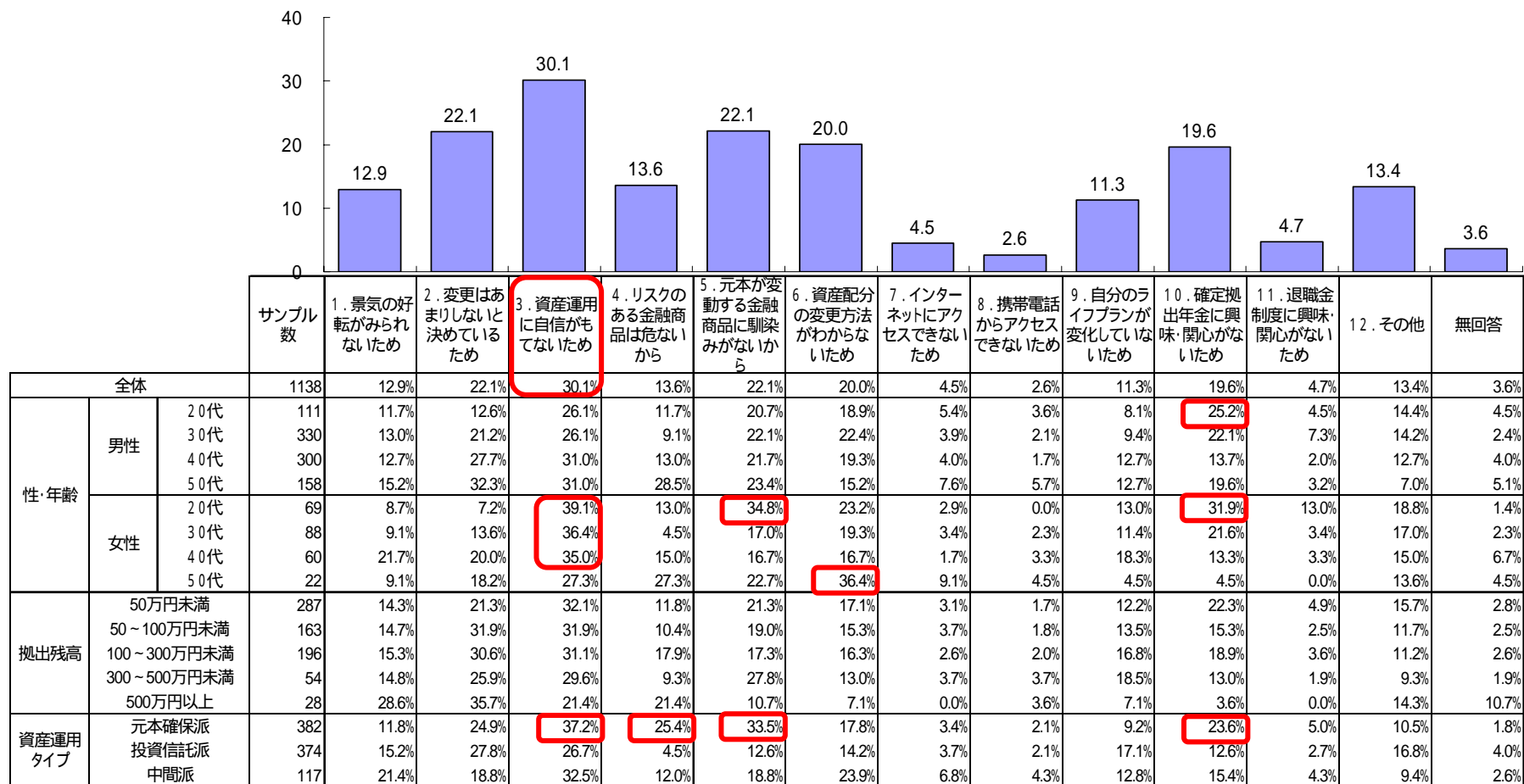


積立金の預け替え(スイッチング)についても、無回答の比率が高くなっているが、前記の毎月の掛け金の配分割合の変更と同様でさらに変更実施率が少なくなっている。層別の変化でも全体的に同じ傾向となっている。

		サンプル数	実施したことがある	実施したことがない	「積立金の預け替え」の意味がよくわからない	無回答	
全体		1537	9.5%	61.0%	5.9%	23.6%	
性・年齢	男性	20代	159	5.7%	58.5%	7.5%	28.3%
		30代	459	9.4%	59.5%	5.7%	25.5%
		40代	393	12.7%	63.4%	4.8%	19.1%
		50代	215	12.6%	57.2%	6.5%	23.7%
	女性	20代	101	3.0%	58.4%	9.9%	28.7%
		30代	107	6.5%	70.1%	0.9%	22.4%
		40代	78	7.7%	64.1%	7.7%	20.5%
		50代	25	4.0%	64.0%	12.0%	20.0%
拠出残高	50万円未満	398	9.0%	62.8%	5.8%	22.4%	
	50～100万円未満	207	10.6%	67.6%	3.4%	18.4%	
	100～300万円未満	274	21.9%	59.1%	1.5%	17.5%	
	300～500万円未満	65	15.4%	66.2%	3.1%	15.4%	
	500万円以上	42	16.7%	47.6%	7.1%	28.6%	
資産運用タイプ	元本確保派	447	6.0%	68.2%	5.1%	20.6%	
	投資信託派	542	19.0%	59.4%	3.5%	18.1%	
	中間派	144	6.3%	69.4%	5.6%	18.8%	

(SA)

Q5SQ1 掛金の配分割合や積立金の資産配分の変更を行わない理由



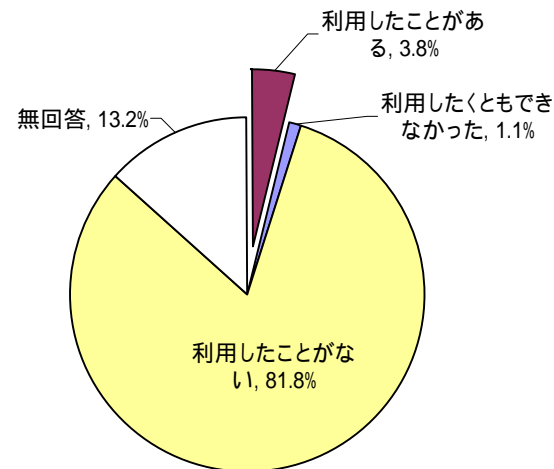
(MA)

掛け金の配分割合や積立金の預け替えの変更を行わない理由としては、「資産運用に自信がもてない」「元本が変動する金融商品に馴染みがないから(よく知らない)」の心理的側面と、次いで、「変更はあまりしないと決めているため」「資産配分の変更方法がわからないため」「確定拠出年金に興味・関心がないため」等の運用技術以前の確定拠出年金への関連知識欠如の問題が影響していることがうかがわれる。性・年齢別では、女性(特に、若年層)で心理的側面が強く影響し、「確定拠出年金に興味・関心がないため」では、男女共に若年層での比率が高くなっている。資産運用タイプ別では、元本確保派で資産運用に対する心理的な抵抗感と興味・関心の欠如を浮き彫りとした結果となっている。

Q6 A：コールセンター(CC)サービスの利用状況

			サンプル数	利用したことがある	利用したくともできなかった	利用したことがない	無回答
全体			1537	3.8%	1.1%	81.8%	13.2%
性・年齢	男性	20代	159	1.3%	0.6%	82.4%	15.7%
		30代	459	4.4%	0.9%	81.5%	13.3%
		40代	393	5.3%	0.8%	81.9%	12.0%
		50代	215	4.2%	2.3%	76.7%	16.7%
	女性	20代	101	0.0%	3.0%	88.1%	8.9%
	30代	107	2.8%	0.9%	84.1%	12.1%	
	40代	78	2.6%	0.0%	82.1%	15.4%	
	50代	25	8.0%	0.0%	92.0%	0.0%	
抛出彩高	50万円未満		398	3.3%	1.3%	82.4%	13.1%
	50～100万円未満		207	5.8%	0.5%	82.1%	11.6%
	100～300万円未満		274	6.6%	1.5%	79.9%	12.0%
	300～500万円未満		65	6.2%	0.0%	73.8%	20.0%
	500万円以上		42	4.8%	2.4%	83.3%	9.5%
資産運用タイプ	元本確保派		447	2.9%	1.6%	86.8%	8.7%
	投資信託派		542	7.2%	0.6%	78.6%	13.7%
	中間派		144	1.4%	1.4%	87.5%	9.7%

(SA)



利用経験者の利用回数(過去1年間)

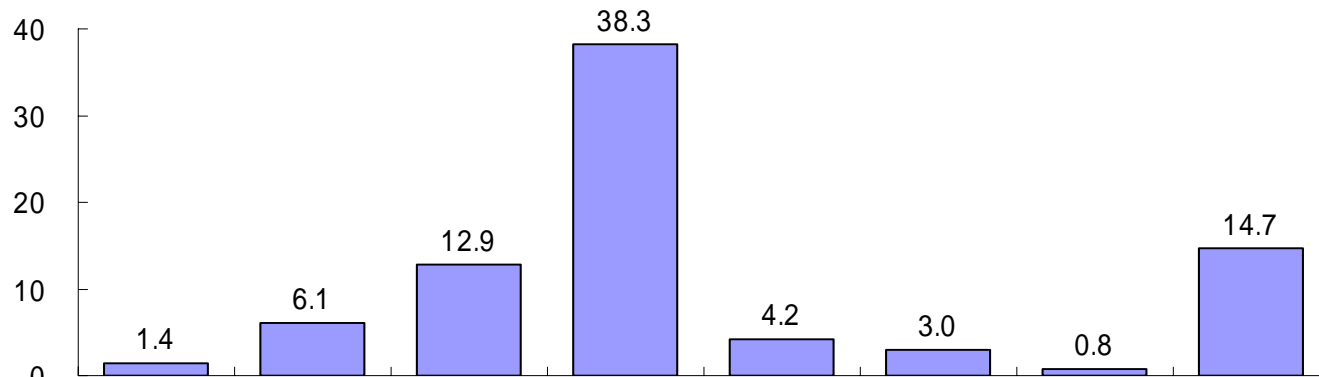
サンプル数	1・2回	3～10回程度	10回超	無回答
59	89.8%	3.4%	0.0%	6.8%

利用経験者の利用電話

サンプル数	自宅の電話	会社の電話	携帯電話	無回答
59	84.7%	23.7%	25.4%	20.3%

コールセンターの利用者は、3%台にとどまり、ほとんどの加入者が利用していない。層別でも際立った傾向はなく、各層ともに利用は低率となっている。

Q6SQ3 A : コールセンター(CC)サービス非利用の理由 (利用したくとも利用できなかった理由、又は利用しなかった理由)



			サンプル数	1. 窓口にたどりつくまで時間がかかった(途中でやめた)	2. 電話番号を忘れた	3. 業務時間内には利用できない	4. 何をどのように質問してよいか分からない	5. 知らない人に電話することに抵抗がある	6. 夜間・休日に利用できなかった	7. 自動音声システムに抵抗がある	8. その他
全体			1275	1.4%	6.1%	12.9%	38.3%	4.2%	3.0%	0.8%	14.7%
性・年齢	男性	20代	132	1.5%	7.6%	9.1%	34.1%	6.8%	2.3%	0.8%	11.4%
		30代	378	1.6%	7.4%	11.6%	37.3%	2.1%	3.7%	0.3%	15.9%
		40代	325	1.2%	7.1%	12.9%	35.7%	4.0%	2.2%	1.5%	16.9%
		50代	170	3.5%	5.9%	12.4%	40.0%	2.4%	4.1%	1.2%	12.9%
	女性	20代	92	0.0%	5.4%	8.7%	47.8%	8.7%	2.2%	0.0%	9.8%
		30代	91	0.0%	1.1%	19.8%	46.2%	3.3%	3.3%	0.0%	20.9%
		40代	64	0.0%	1.6%	21.9%	34.4%	9.4%	1.6%	1.6%	9.4%
		50代	23	0.0%	0.0%	21.7%	43.5%	8.7%	4.3%	0.0%	4.3%

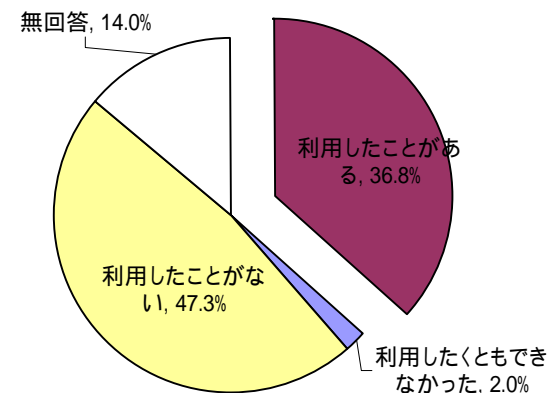
(MA)

コールセンターを利用しない理由としては、「何をどのように質問してよいか分からない」が最も多く、4割弱の割合で多くなっている。この理由には、資産運用への基本知識の欠如と確定拠出年金への無関心さが背景にあることがうかがわれる。

Q6 B：インターネット(Web)サービスの利用状況

			サンプル数	利用したことがある	利用したくともできなかった	利用したことがない	無回答
全体			1537	36.8%	2.0%	47.3%	14.0%
性・年齢	男性	20代	159	30.8%	0.6%	49.7%	18.9%
		30代	459	36.6%	1.5%	45.5%	16.3%
		40代	393	45.8%	1.8%	43.0%	9.4%
		50代	215	34.4%	2.3%	47.0%	16.3%
	女性	20代	101	24.8%	2.0%	60.4%	12.9%
		30代	107	30.8%	5.6%	49.5%	14.0%
		40代	78	43.6%	1.3%	44.9%	10.3%
	50代	25	8.0%	4.0%	80.0%	8.0%	
拠出残高	50万円未満		398	39.9%	1.3%	44.7%	14.1%
	50～100万円未満		207	52.2%	2.4%	33.8%	11.6%
	100～300万円未満		274	56.9%	1.5%	33.6%	8.0%
	300～500万円未満		65	47.7%	0.0%	38.5%	13.8%
	500万円以上		42	57.1%	2.4%	35.7%	4.8%
資産運用タイプ	元本確保派		447	30.9%	3.4%	52.8%	13.0%
	投資信託派		542	60.7%	1.7%	29.3%	8.3%
	中間派		144	29.2%	1.4%	58.3%	11.1%

(SA)



利用経験者の利用回数(過去1年間)

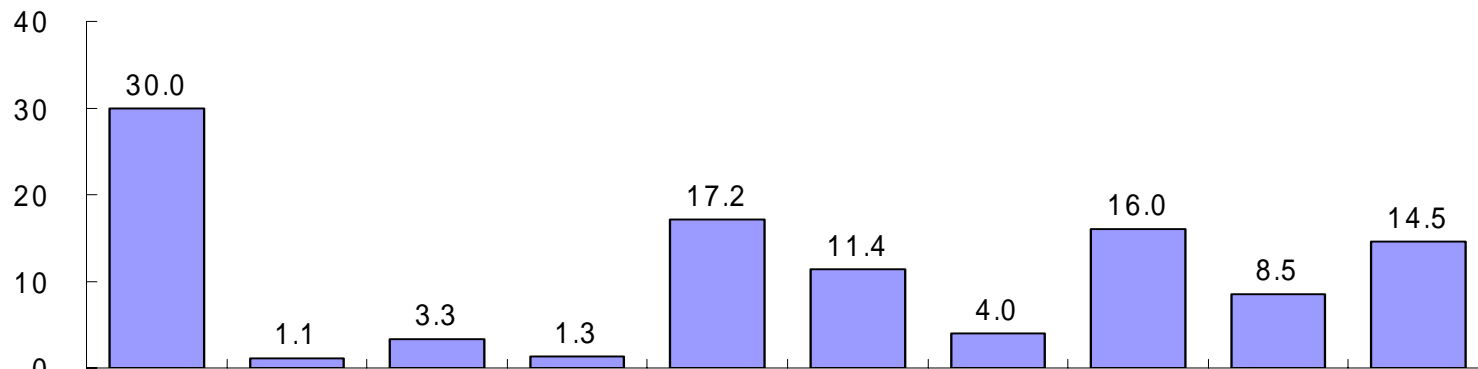
サンプル数	1・2回	3～10回程度	10回超	無回答
565	53.1%	31.7%	12.7%	2.5%

利用経験者の利用パソコン

サンプル数	自宅のパソコン	会社のパソコン	左記以外の場所のパソコン	無回答
565	60.5%	33.5%	0.4%	12.0%

インターネット(Web)サービスは、3分の1強の加入者が、「利用したことがある」と回答している。性・年齢別では、女性の50代での利用経験率が著しく低くなっている。資産運用タイプでは、投資信託派の利用経験率の高さが目立っている。

Q6SQ3 B : インターネット(Web)サービス非利用の理由 (利用したくとも利用できなかった理由、又は利用しなかった理由)



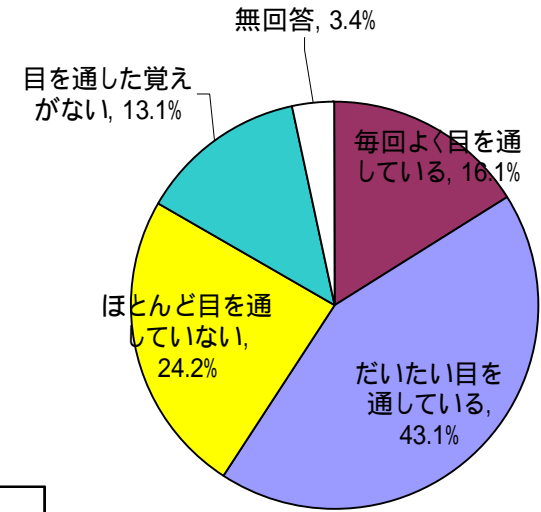
			サンプル数	1. パスワードを忘れた	2. パスワードの入力に時間がかかった	3. 希望画面にたどり着くまで時間がかかった(途中でやめた)	4. 職場のパソコンがない	5. 業務時間内には利用できない	6. 自宅のパソコンがない	7. パソコンの使い方がわからない	8. 欲しい情報がどこにあるのか画面の見方がわからない	9. ログインした後の操作の仕方がわからない	10. その他
全体			757	30.0%	1.1%	3.3%	1.3%	17.2%	11.4%	4.0%	16.0%	8.5%	14.5%
性・年齢	男性	20代	80	32.5%	1.3%	3.8%	3.8%	11.3%	16.3%	2.5%	6.3%	5.0%	15.0%
		30代	216	32.4%	1.4%	1.4%	1.4%	18.1%	11.6%	3.2%	19.0%	9.3%	15.3%
		40代	176	38.1%	0.6%	4.0%	1.1%	17.0%	7.4%	4.0%	16.5%	9.1%	13.6%
		50代	106	23.6%	0.9%	4.7%	1.9%	15.1%	11.3%	10.4%	17.0%	10.4%	11.3%
		20代	63	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	7.9%	7.9%	0.0%	9.5%	4.8%	15.9%
	女性	30代	59	23.7%	3.4%	6.8%	0.0%	27.1%	15.3%	1.7%	16.9%	3.4%	22.0%
		40代	36	16.7%	0.0%	5.6%	0.0%	36.1%	19.4%	5.6%	25.0%	19.4%	8.3%
		50代	21	4.8%	0.0%	4.8%	0.0%	9.5%	9.5%	0.0%	14.3%	4.8%	14.3%

(MA)

インターネット(Web)サービスを利用しない理由としては、「パスワードを忘れた」が3割で最も多くなっている。他では、画面の見方、操作方法、パソコンの未保有等の基本的なリテラシーの欠如が浮き彫りとなっている。

Q7 「残高のお知らせ」の評価

閲覧状況



			サンプル数	毎回よく目を通している	だいたい目を通している	ほとんど目を通していない	目を通した覚えがない	無回答
全体			1537	16.1%	43.1%	24.2%	13.1%	3.4%
性・年齢	男性	20代	159	13.2%	39.0%	21.4%	20.8%	5.7%
		30代	459	16.3%	39.2%	29.6%	11.1%	3.7%
		40代	393	17.0%	46.3%	23.7%	10.7%	2.3%
		50代	215	21.9%	41.9%	20.5%	12.1%	3.7%
	女性	20代	101	6.9%	41.6%	21.8%	24.8%	5.0%
		30代	107	9.3%	53.3%	23.4%	11.2%	2.8%
		40代	78	21.8%	51.3%	11.5%	12.8%	2.6%
		50代	25	12.0%	40.0%	36.0%	12.0%	0.0%
拠出残高	50万円未満		398	16.1%	48.7%	19.3%	11.3%	4.5%
	50～100万円未満		207	23.7%	52.2%	20.3%	3.4%	0.5%
	100～300万円未満		274	23.4%	52.9%	19.3%	3.6%	0.7%
	300～500万円未満		65	20.0%	46.2%	21.5%	9.2%	3.1%
	500万円以上		42	28.6%	52.4%	16.7%	0.0%	2.4%
資産運用タイプ	元本確保派		447	12.8%	49.0%	23.3%	13.9%	1.1%
	投資信託派		542	25.8%	50.0%	19.2%	4.1%	0.9%
	中間派		144	15.3%	47.9%	21.5%	12.5%	2.8%

(SA)

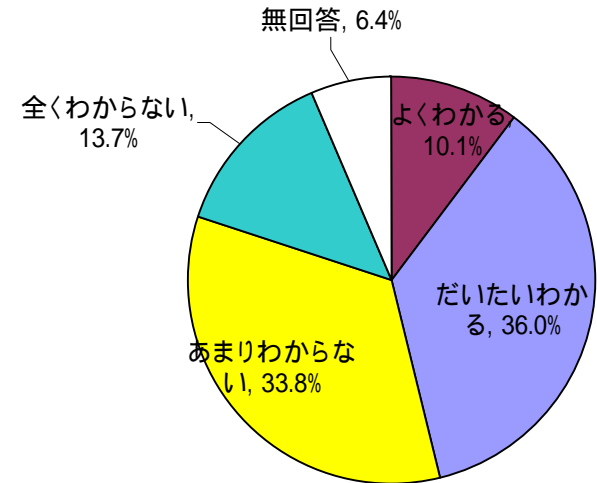
「残高のお知らせ」閲覧状況をみると、目を通している加入者は、全体の6割となっている。

性・年齢別では、「毎回よく目を通している」が男女共に若年層になるほど低くなる傾向にある。また、「目を通した覚えがない」では、男女共に20代での比率が高くなっていることが目立っている。

拠出残高および資産運用タイプでは、それぞれ500万円以上、投資信託派で、「毎回よく目を通している」の比率が高くなる傾向にある。

Q7 「残高のお知らせ」の評価

内容理解



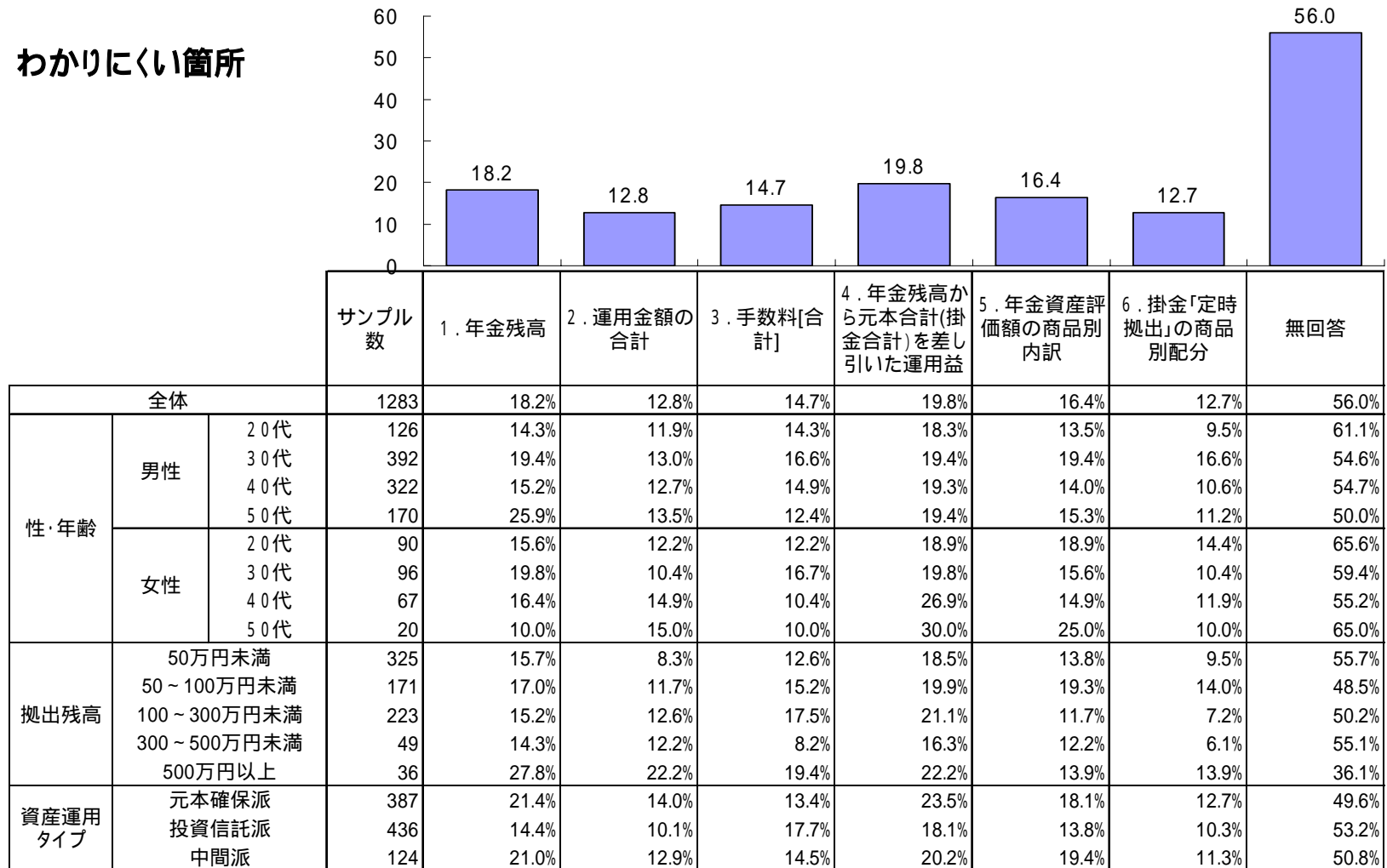
			サンプル数	よくわかる	だいたいわかる	あまりわからない	全くわからない	無回答
全体			1537	10.1%	36.0%	33.8%	13.7%	6.4%
性・年齢	男性	20代	159	10.7%	28.3%	27.7%	23.3%	10.1%
		30代	459	8.9%	35.3%	36.4%	13.7%	5.7%
		40代	393	13.5%	42.7%	29.8%	9.4%	4.6%
		50代	215	14.0%	37.2%	32.1%	9.8%	7.0%
	女性	20代	101	1.0%	20.8%	38.6%	29.7%	9.9%
		30代	107	5.6%	29.0%	50.5%	10.3%	4.7%
		40代	78	7.7%	47.4%	25.6%	12.8%	6.4%
		50代	25	8.0%	36.0%	36.0%	8.0%	12.0%
拠出残高	50万円未満		398	11.1%	36.7%	34.9%	10.1%	7.3%
	50～100万円未満		207	16.4%	43.0%	33.3%	6.3%	1.0%
	100～300万円未満		274	16.1%	51.5%	27.0%	2.9%	2.6%
	300～500万円未満		65	15.4%	47.7%	23.1%	4.6%	9.2%
	500万円以上		42	11.9%	61.9%	23.8%	0.0%	2.4%
資産運用タイプ	元本確保派		447	8.3%	35.8%	39.6%	11.2%	5.1%
	投資信託派		542	17.5%	49.4%	25.3%	5.7%	2.0%
	中間派		144	9.7%	39.6%	36.8%	9.7%	4.2%

「残高のお知らせ」内容理解では、「よくわかる」「だいたいわかる」とした回答者が半数にも達していない。
 性・年齢別では、「全く分からない」が男女共に20代で多くなっている。
 運用タイプ別では、投資信託派で「よくわかる」「だいたいわかる」とした回答者が7割弱で比率では高くなる傾向にある。

(SA)

Q7 「残高のお知らせ」の評価

わかりにくい箇所



(MA)

「残高のお知らせ」内容理解で「よくわかる」と回答した以外の加入者にわかりにくい箇所を指摘してもらおうと上記の通りとなる。

無回答が多く、他項目でも10%台で突出した項目もなく、満遍なく指摘されており、全体的に加入者の反応が希薄で無関心であることを物語っている。

Q8 今後知りたい情報内容

サンプル数	1. 自社の退職給付制度についての詳しい説明	2. 確定拠出年金制度についての詳しい説明	3. 離職、転職時にやらなければならない手続き	4. 自分に合う資産配分(ポートフォリオ)の作り方	5. 商品の売買の仕方	6. 自分の年金残高の確認方法	7. 投資に役立つ情報の集め方	8. ライフプランの組み立て方	9. 経済の基礎知識	10. リスクを軽減するための方法			
全体	1537	37.3%	29.3%	26.4%	29.9%	13.6%	28.8%	18.0%	23.9%	17.2%	16.6%		
性・年齢	男性	20代	159	36.5%	28.3%	29.6%	25.8%	17.6%	23.9%	18.9%	20.1%	25.2%	15.7%
		30代	459	37.5%	30.1%	19.6%	29.6%	16.6%	24.4%	17.9%	25.1%	20.9%	15.0%
		40代	393	35.6%	25.7%	24.4%	27.2%	13.0%	29.8%	19.1%	27.0%	11.5%	17.0%
		50代	215	38.6%	31.2%	25.6%	20.9%	9.3%	26.5%	14.0%	19.1%	6.5%	15.3%
	女性	20代	101	47.5%	41.6%	47.5%	39.6%	12.9%	40.6%	22.8%	29.7%	26.7%	19.8%
		30代	107	34.6%	25.2%	30.8%	43.9%	9.3%	31.8%	18.7%	26.2%	21.5%	18.7%
		40代	78	35.9%	29.5%	35.9%	44.9%	9.0%	38.5%	16.7%	19.2%	19.2%	23.1%
		50代	25	32.0%	28.0%	36.0%	20.9%	16.0%	56.0%	12.0%	0.0%	16.0%	12.0%
拠出残高	50万円未満	398	33.7%	26.4%	29.9%	29.4%	13.6%	23.1%	20.6%	27.1%	22.1%	16.3%	
	50～100万円未満	207	33.8%	23.7%	23.2%	34.8%	11.6%	29.0%	16.9%	24.2%	16.9%	15.5%	
	100～300万円未満	274	27.4%	18.6%	22.3%	32.8%	14.2%	22.6%	21.5%	23.7%	14.6%	17.9%	
	300～500万円未満	65	41.5%	21.5%	29.2%	27.7%	9.2%	24.6%	18.5%	29.2%	7.7%	15.4%	
	500万円以上	42	42.9%	11.9%	31.0%	28.6%	9.5%	26.2%	11.9%	21.4%	4.8%	23.8%	
資産運用タイプ	元本確保派	447	42.3%	33.8%	25.3%	29.8%	12.1%	35.6%	18.6%	24.4%	15.4%	17.2%	
	投資信託派	542	29.9%	19.4%	25.8%	34.7%	13.7%	20.3%	21.4%	25.8%	20.1%	16.2%	
	中間派	144	34.0%	22.9%	28.5%	26.4%	16.7%	27.1%	14.6%	27.8%	15.3%	22.2%	

11. 投資や資産運用の基礎知識	12. 主な金融商品の種類とリスク・リターン	13. 商品選定の際の具体的な投資アドバイス	14. 資産配分の見直しと見直し内容	15. 公的年金制度の説明	16. 企業年金の受け取り方法	17. 投資選考判断ポートフォリオ決定のためのシミュレーション内容	18. 資産運用シミュレーション内容	19. 老後の必要額・不足額の試算シミュレーション内容	20. その他	無回答
26.3%	17.0%	23.9%	28.9%	27.1%	24.2%	10.6%	15.3%	26.3%	2.2%	5.4%
29.6%	17.6%	23.9%	23.9%	22.0%	20.8%	10.1%	15.1%	18.2%	1.3%	4.4%
27.9%	17.6%	23.5%	29.4%	25.9%	20.5%	10.0%	17.2%	25.5%	2.2%	5.9%
21.4%	19.1%	25.7%	29.3%	26.2%	22.9%	13.2%	15.8%	24.4%	2.3%	4.3%
20.9%	10.7%	15.8%	26.5%	31.2%	32.1%	7.9%	9.3%	25.1%	3.7%	7.4%
38.6%	18.8%	25.7%	26.7%	31.7%	27.7%	5.9%	22.8%	36.6%	5.0%	5.0%
29.9%	16.8%	27.1%	36.4%	27.1%	22.4%	10.3%	12.1%	34.6%	0.0%	5.6%
26.9%	19.2%	32.1%	33.3%	34.6%	28.2%	16.7%	15.4%	30.8%	0.0%	5.1%
32.0%	12.0%	24.0%	28.0%	20.0%	48.0%	8.0%	8.0%	40.0%	0.0%	4.0%
30.9%	17.6%	25.4%	30.4%	28.6%	23.6%	10.8%	21.4%	30.9%	1.8%	4.0%
27.1%	17.9%	24.6%	34.8%	30.4%	22.2%	11.1%	13.5%	25.6%	2.4%	0.5%
24.5%	19.0%	29.9%	31.4%	24.1%	21.5%	12.8%	15.0%	25.5%	2.9%	4.0%
18.5%	12.3%	24.6%	32.3%	21.5%	33.8%	13.8%	15.4%	29.2%	1.5%	1.5%
11.9%	14.3%	16.7%	28.6%	35.7%	35.7%	11.9%	7.1%	31.0%	0.0%	9.5%
25.1%	15.9%	20.8%	28.4%	29.8%	24.6%	9.4%	14.8%	30.9%	2.7%	2.7%
27.3%	19.2%	30.8%	34.9%	28.6%	25.8%	14.6%	20.5%	28.4%	1.8%	3.1%
29.2%	18.1%	25.7%	27.8%	21.5%	14.6%	11.8%	15.3%	23.6%	0.7%	2.1%

「自社の退職給付制度についての詳しい説明」という基本的な情報内容が、4割弱で最も高くなっている。他項目でも、確定拠出年金制度など制度そのものへの知識不足を反映する結果となっている。

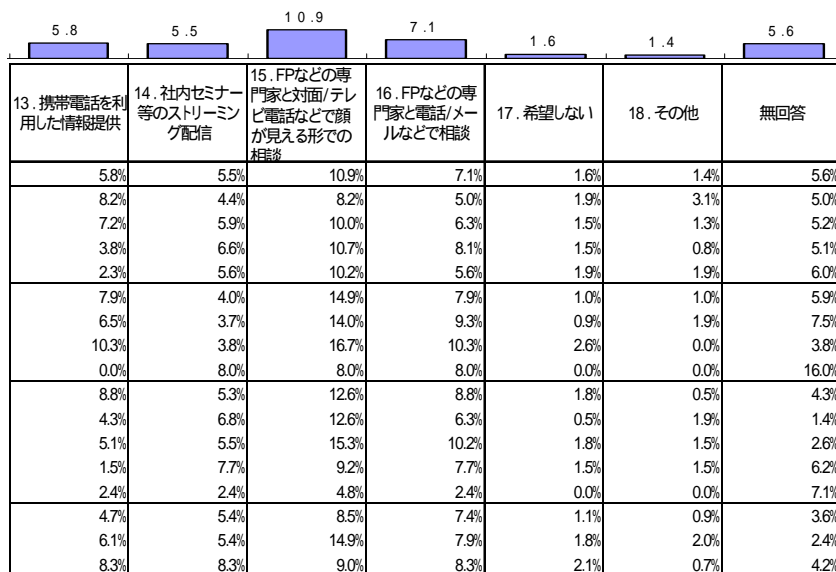
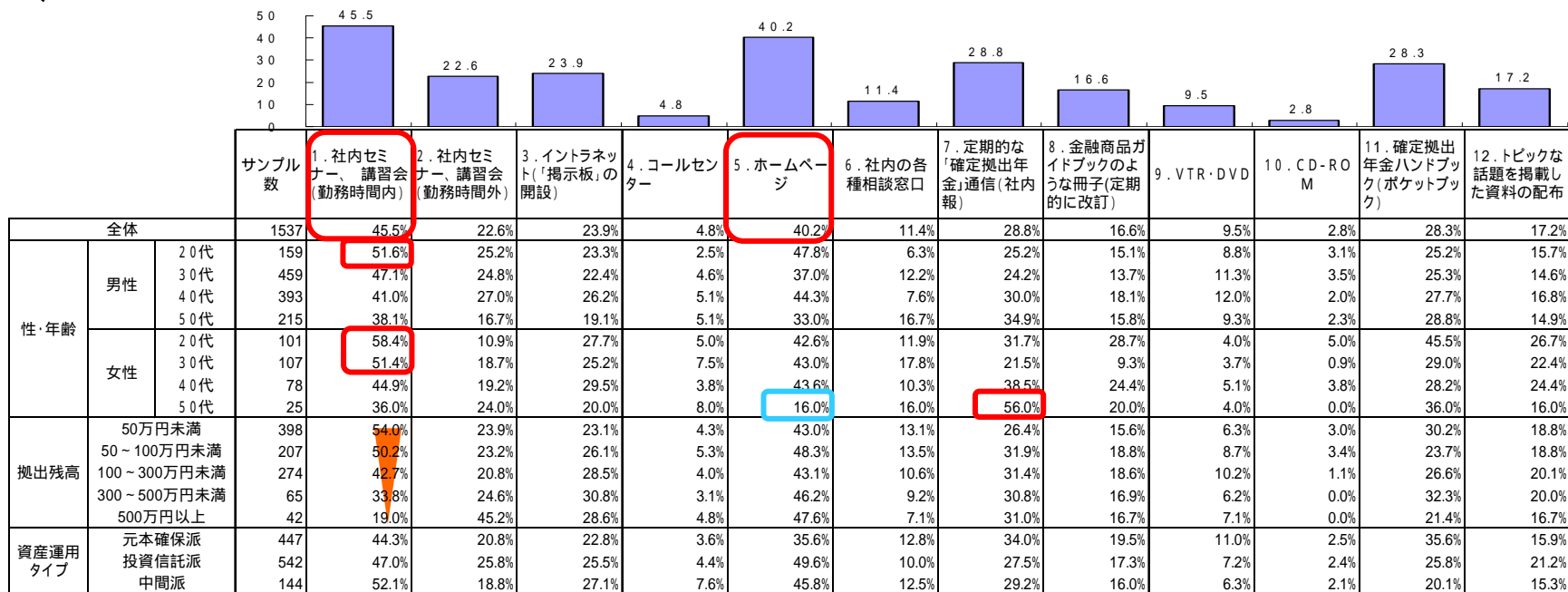
Q8SQ1 今後とくに知りたい内容 (1位)

			1. 自社の退職給付制度についての詳しい説明	2. 確定拠出年金制度についての詳しい説明	3. 離職、転職時にやらなければならない手続き	4. 自分に合う資産配分(ポートフォリオ)の作り方	5. 商品の売買の仕方	6. 自分の年金残高の確認方法	7. 投資に役立つ情報の集め方	8. ライフプランの組み立て方	9. 経済の基礎知識	10. リスクを軽減するための方法	
全体			1537	9.6%	6.8%	4.5%	7.3%	1.7%	3.5%	2.3%	5.2%	2.0%	1.6%
性・年齢	男性	20代	159	13.2%	5.7%	5.0%	6.3%	2.5%	3.8%	1.9%	5.7%	4.4%	1.3%
		30代	459	10.5%	7.6%	3.7%	7.4%	2.2%	3.7%	2.4%	4.6%	2.8%	2.0%
		40代	393	7.4%	4.8%	3.8%	5.9%	1.3%	3.6%	3.3%	7.6%	0.3%	1.3%
		50代	215	11.2%	8.8%	5.1%	3.7%	1.4%	2.3%	1.9%	3.3%	0.5%	0.5%
	女性	20代	101	9.9%	10.9%	4.0%	12.9%	2.0%	2.0%	2.0%	6.9%	3.0%	2.0%
	30代	107	8.4%	6.5%	6.5%	13.1%	0.9%	0.9%	0.9%	5.6%	2.8%	2.8%	
	40代	78	6.4%	3.8%	6.4%	11.5%	1.3%	6.4%	1.3%	0.0%	2.6%	3.8%	
	50代	25	4.0%	8.0%	8.0%	4.0%	0.0%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
拠出残高	50万円未満		398	10.3%	4.8%	4.3%	6.8%	1.8%	2.3%	2.3%	8.0%	2.8%	1.5%
	50～100万円未満		207	8.2%	1.9%	5.8%	11.1%	1.0%	5.3%	3.4%	6.3%	2.4%	2.4%
	100～300万円未満		274	5.1%	4.4%	2.9%	8.0%	2.2%	3.6%	3.3%	6.6%	0.4%	1.8%
	300～500万円未満		65	6.2%	7.7%	4.6%	6.2%	0.0%	3.1%	6.2%	6.2%	1.5%	1.5%
	500万円以上		42	7.1%	2.4%	7.1%	7.1%	2.4%	4.8%	2.4%	2.4%	0.0%	2.4%
資産運用タイプ	元本確保派		447	12.1%	8.3%	2.7%	6.7%	0.7%	4.7%	1.6%	4.9%	1.6%	1.3%
	投資信託派		542	5.7%	2.6%	4.4%	7.6%	2.2%	2.8%	3.7%	7.0%	1.8%	2.0%
	中間派		144	7.6%	5.6%	9.7%	10.4%	3.5%	2.8%	2.1%	6.9%	0.7%	1.4%

11. 投資や資産運用の基礎知識	12. 主な金融商品の種類とリスク・リターン	13. 商品選定の際の具体的な投資アドバイス	14. 資産配分の見直しのタイミングと見直し内容	15. 公的年金制度の説明	16. 企業年金の受け取り方法	17. 投資選考判断ポートフォリオ決定のためのシミュレーション内容	18. 資産運用シミュレーション内容	19. 老後の必要額・不足額の試算シミュレーション内容	20. その他	無回答
4.9%	2.1%	5.9%	9.0%	3.2%	1.8%	1.2%	1.7%	9.7%	0.7%	15.4%
8.2%	0.6%	6.9%	7.5%	3.8%	0.0%	3.1%	0.6%	7.5%	0.0%	11.9%
5.4%	1.3%	6.1%	9.2%	2.2%	1.5%	0.7%	2.0%	8.9%	0.4%	15.5%
3.1%	4.1%	7.1%	10.2%	5.1%	1.5%	1.3%	2.3%	10.4%	1.0%	14.8%
3.3%	1.4%	6.0%	7.0%	3.7%	3.7%	0.0%	1.4%	10.7%	1.4%	22.8%
6.9%	2.0%	5.0%	5.9%	0.0%	2.0%	1.0%	2.0%	6.9%	1.0%	11.9%
9.3%	0.9%	1.9%	9.3%	2.8%	0.9%	1.9%	0.0%	15.0%	0.0%	9.3%
2.6%	5.1%	2.6%	12.8%	1.3%	1.3%	2.6%	2.6%	9.0%	0.0%	16.7%
0.0%	0.0%	4.0%	12.0%	4.0%	8.0%	4.0%	0.0%	8.0%	0.0%	20.0%
8.5%	1.8%	6.0%	8.8%	3.8%	0.8%	1.0%	1.8%	11.3%	0.3%	11.3%
4.3%	1.4%	8.2%	12.6%	3.9%	1.9%	1.4%	2.4%	8.7%	0.5%	6.8%
3.6%	3.3%	7.7%	13.9%	3.6%	2.6%	1.5%	1.8%	8.8%	1.5%	13.5%
3.1%	1.5%	7.7%	12.3%	4.6%	1.5%	3.1%	4.6%	7.7%	0.0%	10.8%
0.0%	2.4%	7.1%	7.1%	7.1%	9.5%	0.0%	0.0%	11.9%	0.0%	16.7%
5.6%	2.0%	3.8%	9.6%	4.0%	2.0%	0.9%	1.8%	13.0%	0.4%	12.3%
5.2%	2.8%	9.0%	12.9%	3.5%	1.5%	2.0%	2.2%	9.4%	0.9%	10.7%
6.3%	4.2%	6.9%	6.9%	1.4%	0.7%	1.4%	1.4%	6.9%	0.0%	13.2%

今後とくに説明を受けたいもの(1位)では、「老後の必要額・不足額の試算シミュレーション内容」が最も多くなって、具体的な自覚・理解の促進手法(サポート)としての要望が高いことをうかがわせている。

Q9 望まれる情報入手の方法

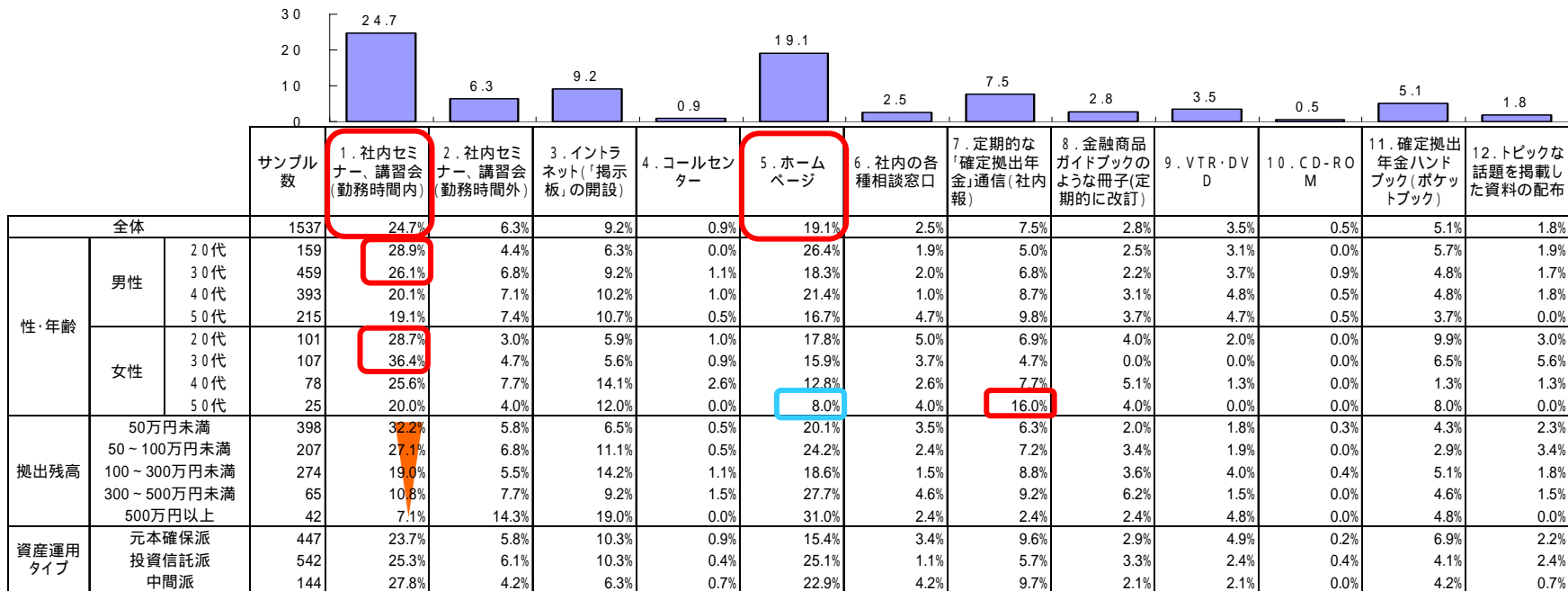


前記情報入手するに際して、どのような方法で収集したいかの回答としては、「社内セミナー、講習会(勤務時間内)」「ホームページ」が4割台で多くなっている。

特に、「社内セミナー、講習会(勤務時間内)」では、若年層、女性ほど勤務時間内セミナーを求めている。また、拠出残高では、残額が少ない加入者ほど勤務時間内セミナーを求めている。つまり、初心者ほど集合教育を求めていることが理解できる。

また、女性50代では、「ホームページ」の要望は比較的低く、「定期的な「確定拠出年金」通信(社内報)」での比率が高くなる傾向にある。

Q9SQ1 利用しやすい情報入手の方法 (1位)

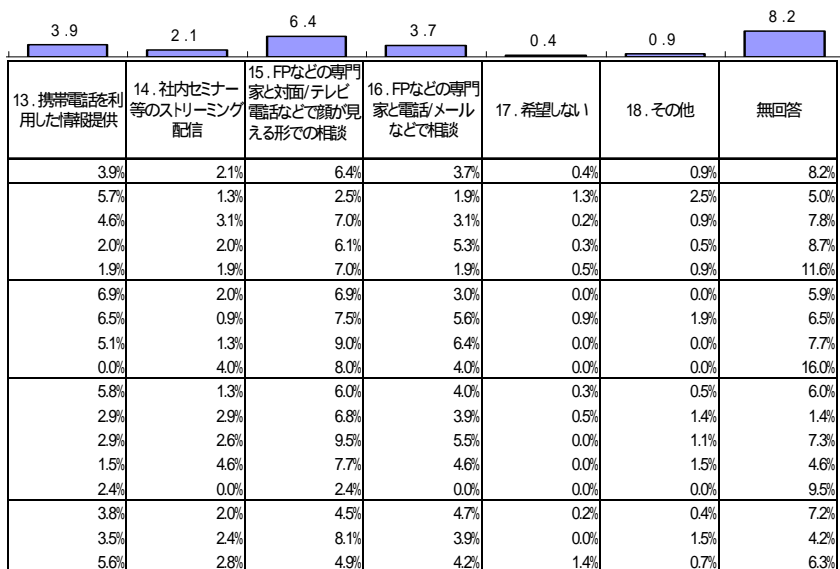
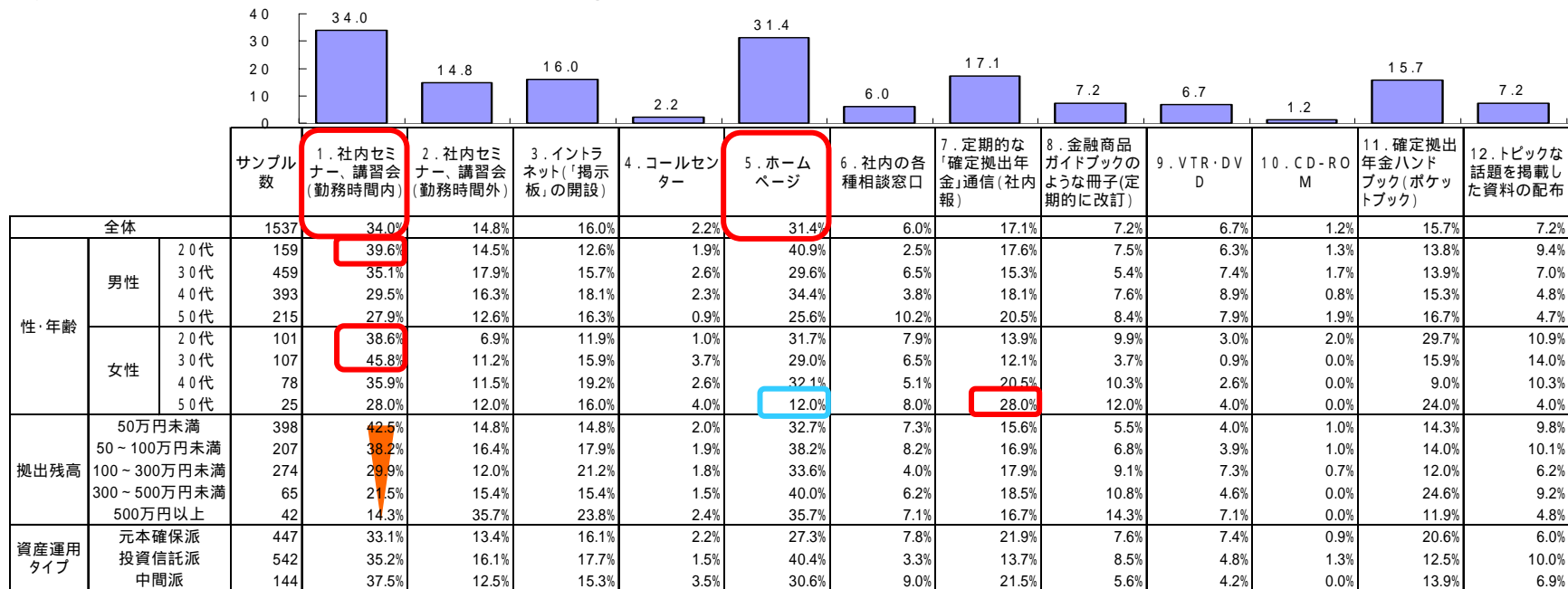


13. 携帯電話を利用した情報提供	14. 社内セミナー等のストリーミング配信	15. FPなどの専門家と対面/テレビ電話などで顔が見える形での相談	16. FPなどの専門家と電話/メールなどで相談	17. 希望しない	18. その他	無回答
1.8%	0.5%	3.3%	1.5%	0.2%	0.7%	8.2%
3.8%	0.0%	0.6%	1.3%	1.3%	1.9%	5.0%
2.4%	1.1%	3.5%	1.3%	0.0%	0.4%	7.8%
0.3%	0.3%	4.1%	1.8%	0.0%	0.5%	8.7%
1.4%	0.5%	2.8%	0.9%	0.5%	0.9%	11.6%
3.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%
2.8%	0.0%	2.8%	2.8%	0.0%	0.9%	6.5%
1.3%	0.0%	5.1%	3.8%	0.0%	0.0%	7.7%
0.0%	4.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.0%
2.8%	0.5%	3.0%	1.8%	0.3%	0.3%	6.0%
1.4%	0.5%	1.9%	2.9%	0.0%	1.0%	1.4%
1.1%	0.4%	5.1%	1.8%	0.0%	0.7%	7.3%
0.0%	3.1%	4.6%	1.5%	0.0%	1.5%	4.6%
0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%
1.6%	0.2%	2.7%	1.8%	0.2%	0.0%	7.2%
1.7%	0.7%	3.9%	1.8%	0.0%	1.1%	4.2%
3.5%	0.7%	2.1%	1.4%	0.7%	0.7%	6.3%

最も利用しやすい情報入手の方法(1位)は、前記の複数回答(MA)の比率を反映し、同様の結果となっている。

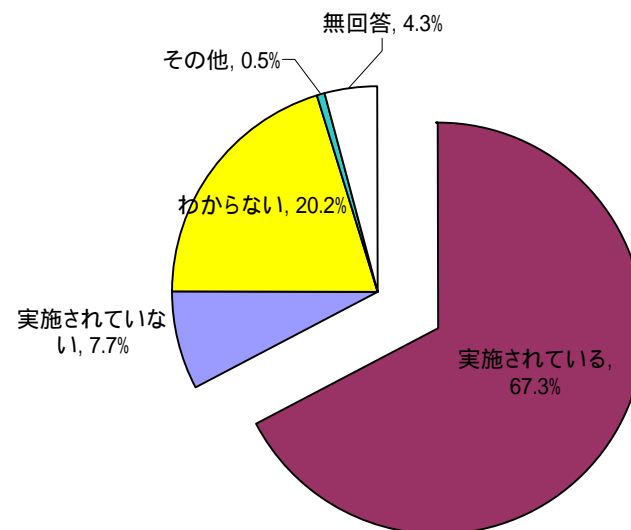
(SA)

Q9SQ1 利用しやすい情報入手の方法 (2位まで)



最も利用しやすい情報入手の方法 (2位まで) は、前記の単一回答 (SA) の比率と同様の結果となっている。

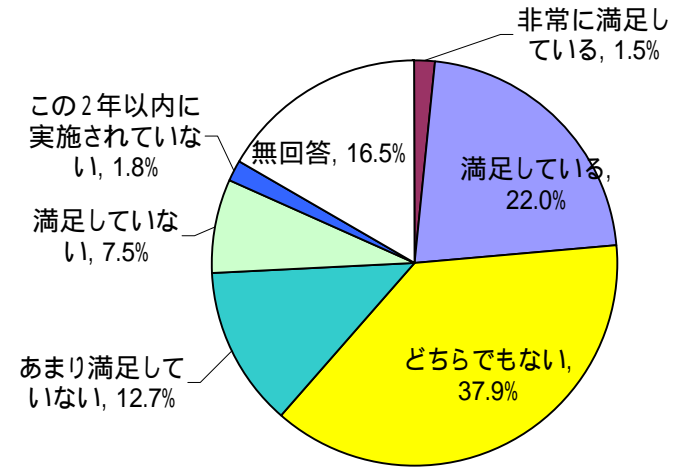
Q10 社内セミナー、講習会(継続教育)等の実施有無



			サンプル数	実施されている	実施されていない	わからない	その他	無回答
全体			1537	67.3%	7.7%	20.2%	0.5%	4.3%
性・年齢	男性	20代	159	62.3%	9.4%	24.5%	0.0%	3.8%
		30代	459	62.1%	8.1%	23.3%	0.9%	5.7%
		40代	393	71.2%	7.1%	18.3%	0.3%	3.1%
		50代	215	67.9%	10.2%	17.7%	0.9%	3.3%
	女性	20代	101	66.3%	5.0%	23.8%	0.0%	5.0%
		30代	107	74.8%	2.8%	15.9%	0.9%	5.6%
		40代	78	76.9%	7.7%	10.3%	0.0%	5.1%
		50代	25	68.0%	12.0%	20.0%	0.0%	0.0%
拠出残高	50万円未満		398	73.1%	6.5%	15.3%	0.5%	4.5%
	50～100万円未満		207	76.8%	4.8%	13.5%	0.5%	4.3%
	100～300万円未満		274	76.3%	7.3%	14.6%	0.0%	1.8%
	300～500万円未満		65	73.8%	6.2%	18.5%	0.0%	1.5%
	500万円以上		42	83.3%	7.1%	7.1%	0.0%	2.4%
資産運用タイプ	元本確保派		447	68.2%	8.5%	18.8%	0.7%	3.8%
	投資信託派		542	83.0%	3.7%	10.3%	0.2%	2.8%
	中間派		144	68.1%	9.7%	16.7%	2.1%	3.5%

社内セミナー、講習会(継続教育)等の実施有無では、3分の1強の加入者が、「実施されている」と回答している。また、自社で継続教育を実施しているか、否かを知らない加入者が2割存在することは今後の課題である。特に、性・年齢別で男女共に若年層での「わからない」の回答が多くなる傾向にある。拠出残高では、500万円以上、および資産運用タイプでは、投資信託派で「実施されている」の認識が高くなる傾向にある。

Q10 SQ1 社内セミナー、講習会(継続教育)の満足度

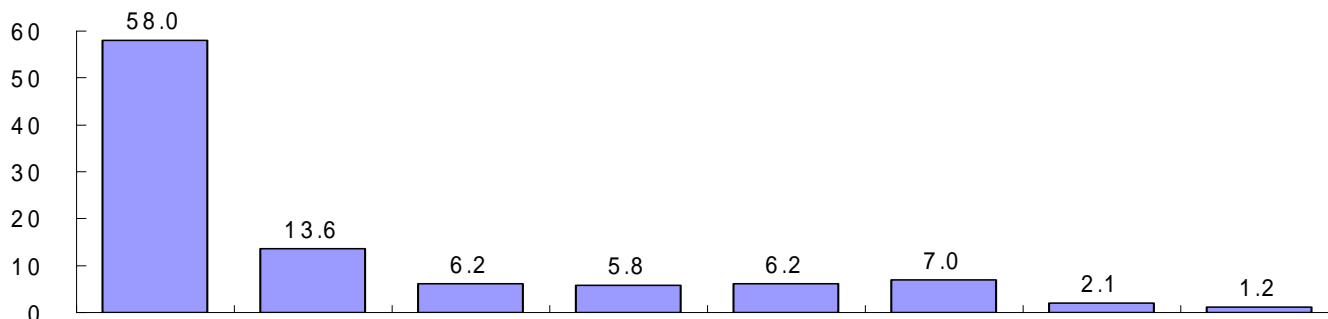


		サンプル数	非常に満足している	満足している	どちらでもない	あまり満足していない	満足していない	この2年以内に実施されていない	無回答	
全体		1034	1.5%	22.0%	37.9%	12.7%	7.5%	1.8%	16.5%	
性・年齢	男性	20代	99	3.0%	22.2%	36.4%	7.1%	2.0%	3.0%	26.3%
		30代	285	0.7%	21.4%	39.3%	10.2%	7.7%	2.5%	18.2%
		40代	280	1.4%	22.9%	38.2%	15.7%	9.3%	1.1%	11.4%
		50代	146	2.7%	19.2%	34.9%	16.4%	6.2%	2.7%	17.8%
	女性	20代	67	0.0%	20.9%	49.3%	3.0%	9.0%	1.5%	16.4%
		30代	80	2.5%	22.5%	38.8%	16.3%	7.5%	0.0%	12.5%
40代		60	1.7%	25.0%	30.0%	16.7%	6.7%	1.7%	18.3%	
	50代	17	0.0%	29.4%	23.5%	11.8%	17.6%	0.0%	17.6%	
拠出残高	50万円未満	291	2.4%	25.8%	38.5%	6.2%	6.9%	2.1%	18.2%	
	50～100万円未満	159	0.0%	27.0%	27.7%	15.1%	5.7%	0.0%	24.5%	
	100～300万円未満	209	2.9%	23.9%	32.5%	17.7%	8.6%	1.4%	12.9%	
	300～500万円未満	48	0.0%	14.6%	45.8%	14.6%	10.4%	2.1%	12.5%	
	500万円以上	35	2.9%	20.0%	40.0%	11.4%	2.9%	2.9%	20.0%	
資産運用タイプ	元本確保派	305	1.0%	21.6%	38.4%	11.8%	8.9%	2.3%	16.1%	
	投資信託派	450	2.2%	25.3%	34.7%	12.2%	7.8%	0.9%	16.9%	
	中間派	98	3.1%	22.4%	42.9%	14.3%	3.1%	0.0%	14.3%	

社内セミナー、講習会(継続教育)等の満足度では、満足している(「非常に満足している」+「満足している」)との回答が4分の1弱となっている。

(SA)

Q10 SQ2 社内セミナー、講習会(継続教育)の満足理由 (「非常に満足している」「満足している」の回答者)

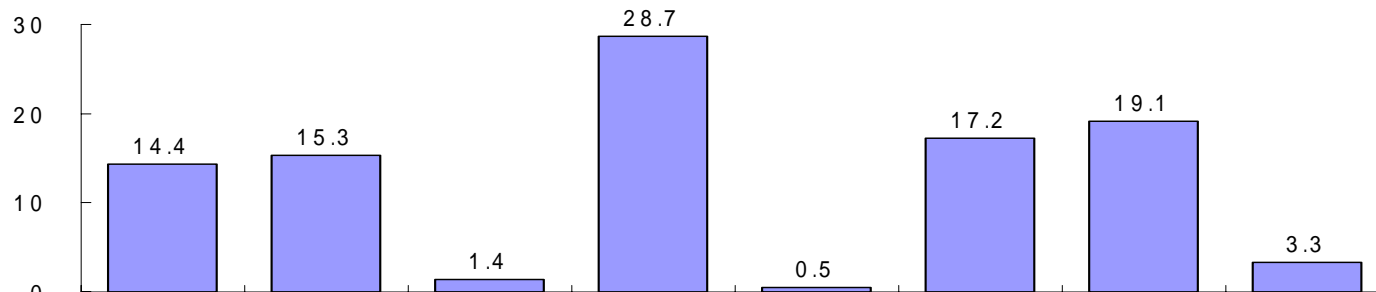


			サンプル数	1. 講師の説明がわかりやすい	2. 配布される資料がわかりやすい	3. 疑問点について答えてくれる	4. 教わった内容が運用に役立っている	5. 担当者の対応がよい	6. 仕事に支障がないように時間等を配慮してくれる	7. その他	無回答
全体			243	58.0%	13.6%	6.2%	5.8%	6.2%	7.0%	2.1%	1.2%
性・年齢	男性	20代	25	44.0%	32.0%	8.0%	0.0%	8.0%	8.0%	0.0%	0.0%
		30代	63	61.9%	12.7%	4.8%	1.6%	7.9%	6.3%	1.6%	3.2%
		40代	68	51.5%	14.7%	4.4%	11.8%	4.4%	10.3%	1.5%	1.5%
		50代	32	56.3%	6.3%	15.6%	9.4%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性	20代	14	64.3%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%	21.4%	0.0%	0.0%
		30代	20	75.0%	10.0%	5.0%	0.0%	0.0%	5.0%	5.0%	0.0%
		40代	16	62.5%	12.5%	6.3%	6.3%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
	50代	5	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
拠出残高	50万円未満		82	58.5%	17.1%	9.8%	0.0%	4.9%	9.8%	0.0%	0.0%
	50～100万円未満		43	60.5%	14.0%	9.3%	4.7%	4.7%	2.3%	4.7%	0.0%
	100～300万円未満		56	53.6%	10.7%	1.8%	12.5%	8.9%	8.9%	0.0%	3.6%
	300～500万円未満		7	71.4%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	500万円以上		8	62.5%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資産運用タイプ	元本確保派		69	53.6%	13.0%	8.7%	7.2%	7.2%	7.2%	1.4%	1.4%
	投資信託派		124	56.5%	16.9%	5.6%	3.2%	6.5%	7.3%	3.2%	0.8%
	中間派		25	72.0%	4.0%	0.0%	8.0%	4.0%	8.0%	0.0%	4.0%

(SA)

社内セミナー、講習会(継続教育)の満足理由では、「講師の説明がわかりやすい」が、過半数で圧倒的となっている。層別の傾向でも同様の結果で、際立った変化は認められない。

Q10 SQ3 社内セミナー、講習会(継続教育)の不満足理由 (「あまり満足していない」「満足していない」の回答者)

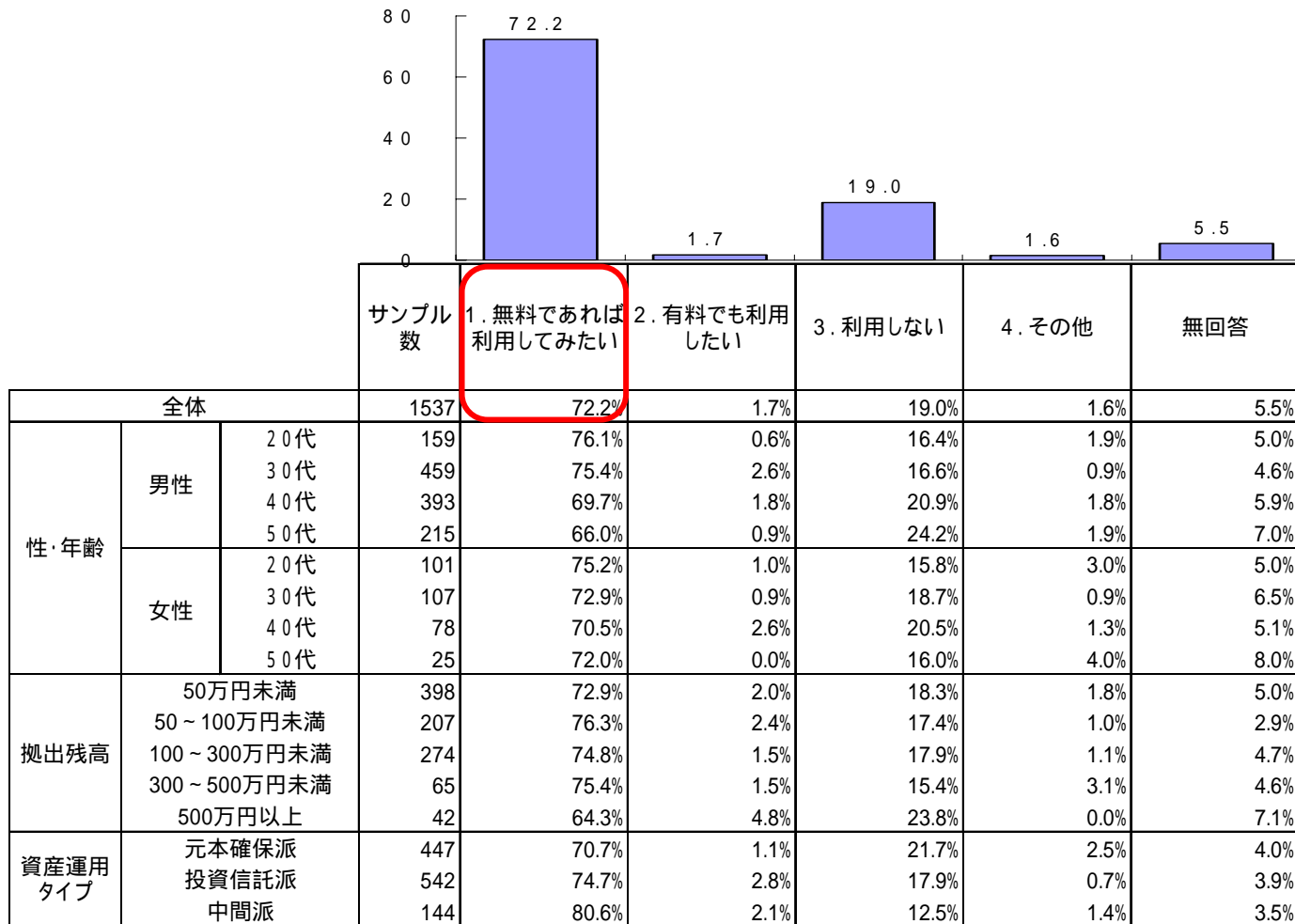


			サンプル数	1. 講師の説明がわかりにくい、難しい	2. 配布される資料がわかりにくい、難しい	3. 疑問点について答えてくれない	4. 教わった内容が運用に役立っていない	5. 担当者の対応が悪い	6. 仕事の都合上、参加することができない	7. その他	無回答
全体			209	14.4%	15.3%	1.4%	28.7%	0.5%	17.2%	19.1%	3.3%
性・年齢	男性	20代	9	11.1%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%	33.3%	22.2%	0.0%
		30代	51	19.6%	21.6%	0.0%	25.5%	2.0%	15.7%	15.7%	0.0%
		40代	70	10.0%	17.1%	2.9%	34.3%	0.0%	18.6%	12.9%	4.3%
		50代	33	27.3%	15.2%	0.0%	18.2%	0.0%	12.1%	24.2%	3.0%
	女性	20代	8	25.0%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%
		30代	19	0.0%	5.3%	0.0%	47.4%	0.0%	15.8%	26.3%	5.3%
		40代	14	0.0%	7.1%	7.1%	14.3%	0.0%	7.1%	50.0%	14.3%
	50代	5	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	
拠出残高	50万円未満		38	21.1%	15.8%	0.0%	34.2%	0.0%	13.2%	15.8%	0.0%
	50～100万円未満		33	12.1%	6.1%	3.0%	27.3%	0.0%	18.2%	24.2%	9.1%
	100～300万円未満		55	10.9%	12.7%	1.8%	38.2%	0.0%	16.4%	20.0%	0.0%
	300～500万円未満		12	0.0%	25.0%	0.0%	41.7%	0.0%	8.3%	25.0%	0.0%
	500万円以上		5	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%
資産運用タイプ	元本確保派		63	11.1%	23.8%	1.6%	23.8%	0.0%	19.0%	19.0%	1.6%
	投資信託派		90	13.3%	5.6%	1.1%	40.0%	0.0%	15.6%	23.3%	1.1%
	中間派		17	5.9%	29.4%	5.9%	17.6%	0.0%	17.6%	11.8%	11.8%

(SA)

社内セミナー、講習会(継続教育)の不満足理由では、「教わった内容が運用に役立っていない」が、3割弱で最も多くなっている。特に、資産運用タイプでの投資信託派の当項目比率が高くなっていることは象徴的となっている。

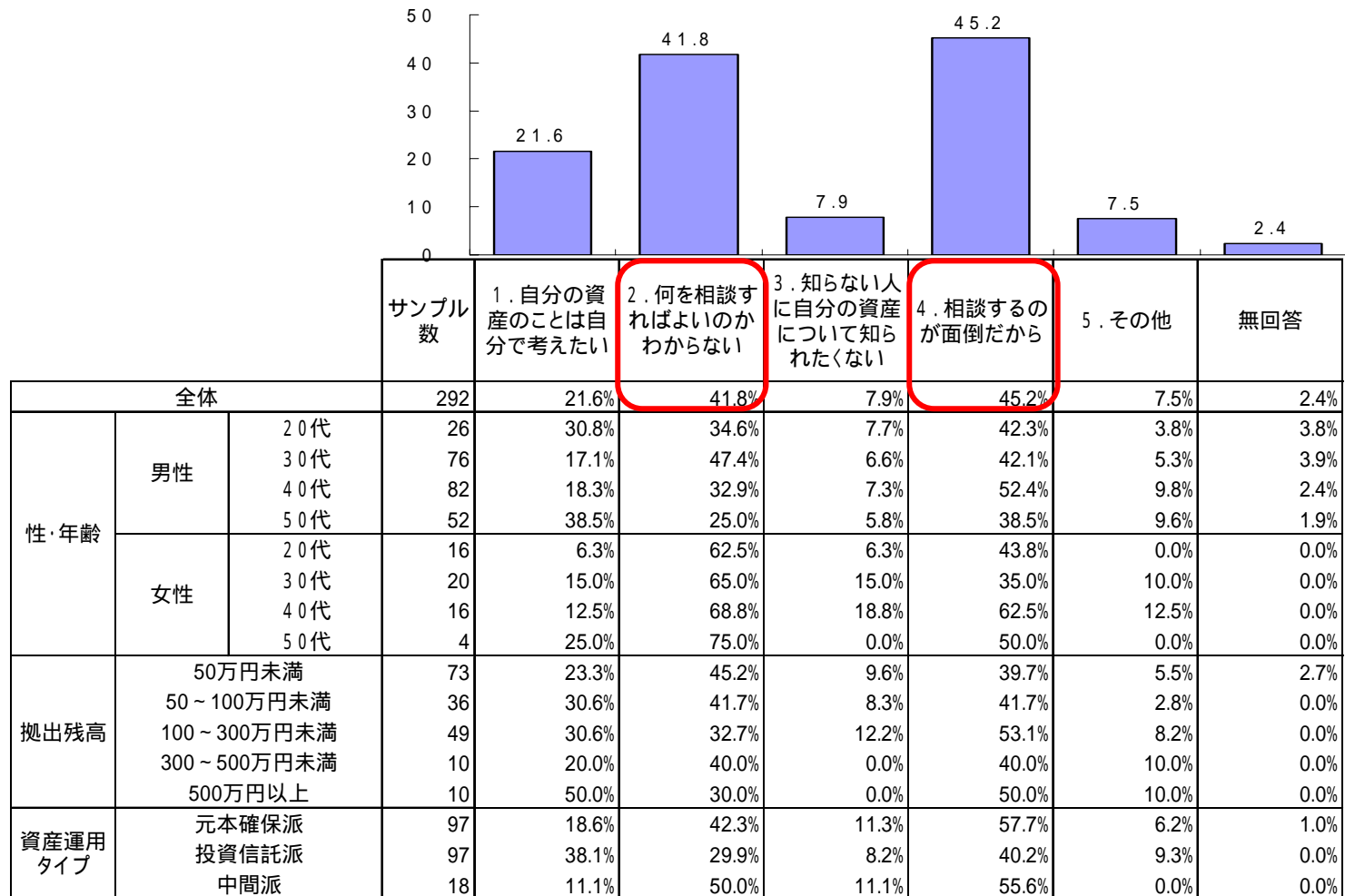
Q11 資産運用相談サービスの利用意向



(SA)

資産運用相談サービスの利用意向では、「無料であれば利用してみたい」が7割強で圧倒的となっている。アドバイザー業務は、無料でないとなれば難しい(企業負担)ことが明確となっている。

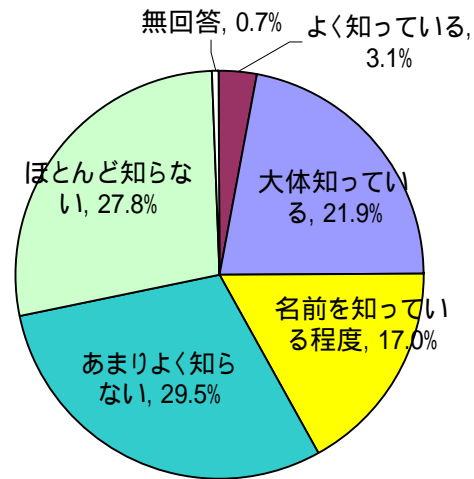
Q11SQ1 資産運用相談サービスの非利用理由（「利用しない」の回答者）



(MA)

資産運用相談サービスの非利用意向では、「相談するのが面倒だから」「何を相談すればよいかわからない」といった動機づけでの欠如が要因となる項目が4割台で多くなっている。

Q12 投資信託の特徴理解



		サンプル数	よく知っている	大体知っている	名前を知っている程度	あまりよく知らない	ほとんど知らない	無回答	
全体		1537	3.1%	21.9%	17.0%	29.5%	27.8%	0.7%	
性・年齢	男性	20代	159	3.8%	22.0%	18.9%	25.8%	29.6%	0.0%
		30代	459	3.3%	22.0%	12.9%	32.9%	27.7%	1.3%
		40代	393	3.8%	27.5%	18.3%	27.2%	23.2%	0.0%
		50代	215	2.3%	26.5%	17.7%	27.0%	25.6%	0.9%
	女性	20代	101	2.0%	6.9%	19.8%	24.8%	46.5%	0.0%
		30代	107	1.9%	10.3%	15.9%	32.7%	37.4%	1.9%
40代		78	2.6%	20.5%	24.4%	34.6%	17.9%	0.0%	
50代		25	4.0%	8.0%	24.0%	40.0%	24.0%	0.0%	
拠出残高	50万円未満	398	3.0%	22.4%	16.8%	33.2%	24.1%	0.5%	
	50～100万円未満	207	5.3%	24.6%	14.5%	33.3%	21.7%	0.5%	
	100～300万円未満	274	3.6%	37.2%	22.3%	25.2%	11.3%	0.4%	
	300～500万円未満	65	3.1%	30.8%	15.4%	32.3%	18.5%	0.0%	
	500万円以上	42	2.4%	33.3%	26.2%	21.4%	14.3%	2.4%	
資産運用タイプ	元本確保派	447	1.1%	15.7%	19.7%	34.0%	29.5%	0.0%	
	投資信託派	542	6.5%	35.6%	19.0%	26.6%	12.0%	0.4%	
	中間派	144	1.4%	22.2%	18.8%	33.3%	23.6%	0.7%	

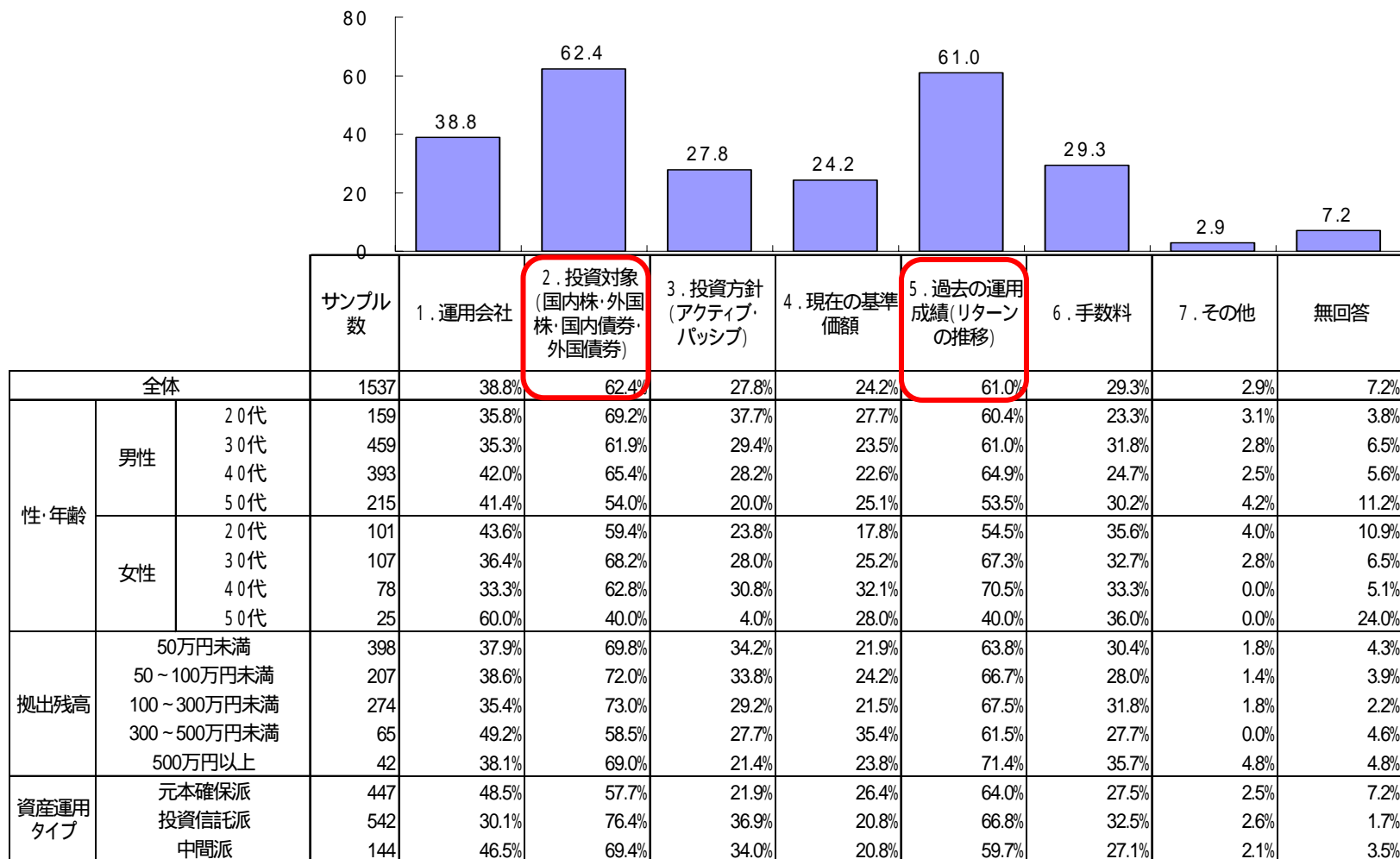
投資信託の理解度は、「大体知っている」まで加えても全体の4分の1となっている。

性・年齢別では、女性の若年層(20～30代)で、「ほとんど知らない」の比率が高くなっていることが目立っている。

資産運用タイプでは、投資信託派でも「知っている」との回答が4割強と低率にとどまっている。

(SA)

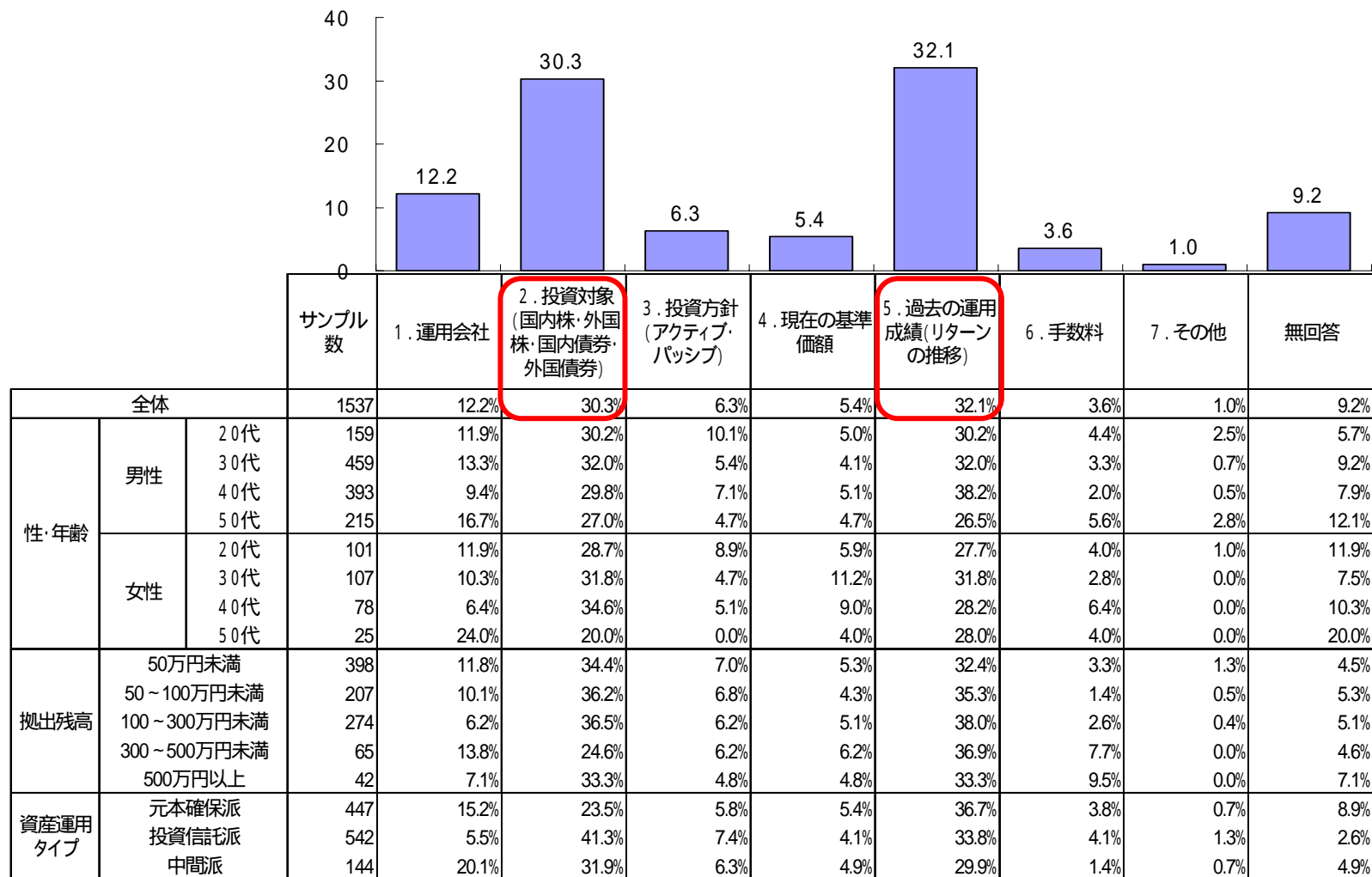
Q12 SQ1 投資信託選定時でのチェック項目(3項目限定)



(3LA)

投資信託の選定に際して、どのような項目をチェック(3項目限定)するかでは、投資対象、過去の運用成績が6割強で上位にあがっている。

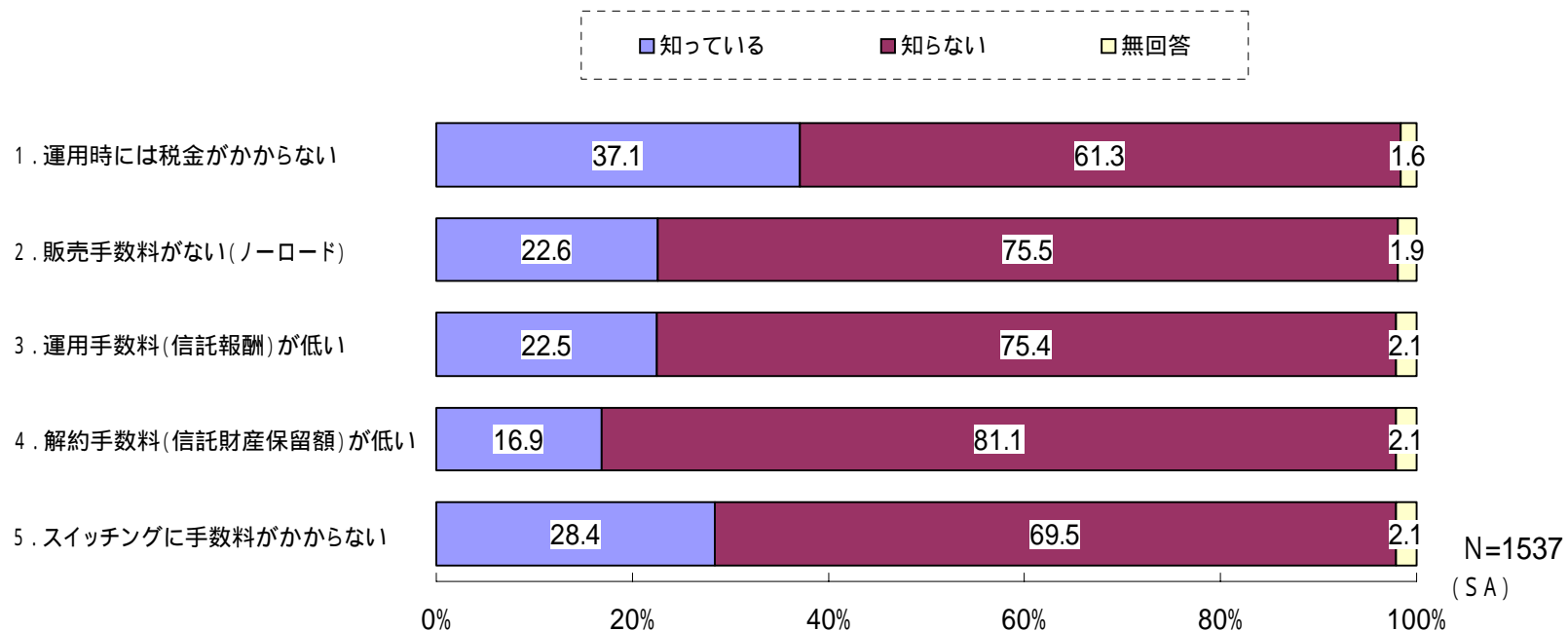
Q12 SQ2 投資信託選定時での最重視点



(SA)

投資信託の選定に際しての最重視項目では、前記の選択(3項目限定)と比較し、過去の運用成績、投資対象が他項目とさらに格差をもって上位にあがっている。

Q12 SQ3 確定拠出年金投資商品の運用メリット認知



確定拠出年金投資商品の運用メリット認知では、5項目において認知が過半数となる項目は皆無で、確定拠出年金制度のメリットが如何に理解されていないかがわかる。同時に、制度そのものへの無理解を浮き彫りにしている。

Q12 SQ3 確定拠出年金投資商品の運用メリット認知

1. 運用時には税金がかからない

			サンプル 数	知っている	知らない	無回答
全体			1537	37.1%	61.3%	1.6%
性・ 年齢	男性	20代	159	40.3%	59.1%	0.6%
		30代	459	32.7%	65.1%	2.2%
		40代	393	40.7%	58.3%	1.0%
		50代	215	35.3%	61.4%	3.3%
	女性	20代	101	28.7%	71.3%	0.0%
		30代	107	41.1%	58.9%	0.0%
		40代	78	50.0%	47.4%	2.6%
		50代	25	32.0%	64.0%	4.0%

(SA)

2. 販売手数料がない(ノーロード)

			サンプル 数	知っている	知らない	無回答
全体			1537	22.6%	75.5%	1.9%
性・ 年齢	男性	20代	159	19.5%	79.9%	0.6%
		30代	459	19.4%	78.4%	2.2%
		40代	393	26.2%	72.3%	1.5%
		50代	215	22.3%	73.5%	4.2%
	女性	20代	101	18.8%	81.2%	0.0%
		30代	107	22.4%	77.6%	0.0%
		40代	78	37.2%	60.3%	2.6%
		50代	25	16.0%	80.0%	4.0%

(SA)

3. 運用手数料(信託報酬)が低い

			サンプル 数	知っている	知らない	無回答
全体			1537	22.5%	75.4%	2.1%
性・ 年齢	男性	20代	159	23.3%	76.1%	0.6%
		30代	459	16.6%	81.3%	2.2%
		40代	393	28.2%	69.7%	2.0%
		50代	215	25.6%	69.8%	4.7%
	女性	20代	101	15.8%	84.2%	0.0%
		30代	107	22.4%	77.6%	0.0%
		40代	78	29.5%	67.9%	2.6%
		50代	25	16.0%	80.0%	4.0%

(SA)

4. 解約手数料(信託財産保留額)が低い

			サンプル 数	知っている	知らない	無回答
全体			1537	16.9%	81.1%	2.1%
性・ 年齢	男性	20代	159	11.3%	88.1%	0.6%
		30代	459	13.9%	83.9%	2.2%
		40代	393	20.6%	77.6%	1.8%
		50代	215	20.0%	74.9%	5.1%
	女性	20代	101	11.9%	88.1%	0.0%
		30代	107	18.7%	81.3%	0.0%
		40代	78	23.1%	74.4%	2.6%
		50代	25	12.0%	84.0%	4.0%

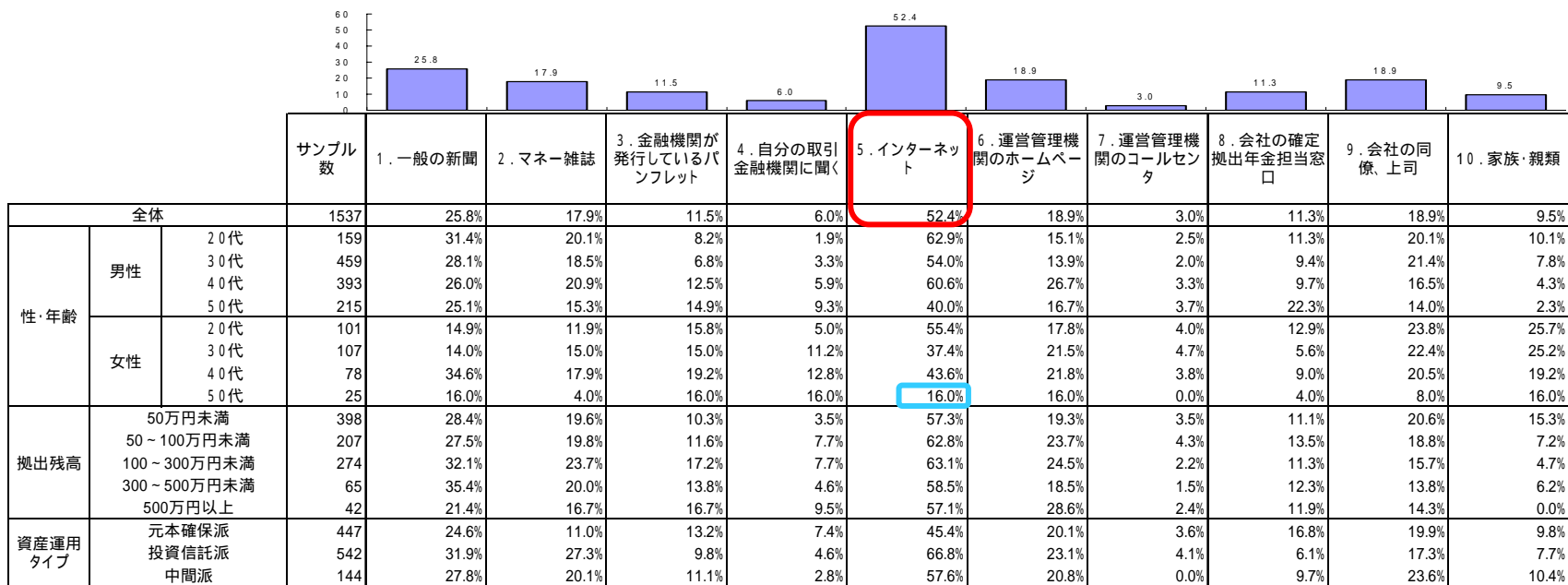
(S A)

5. スイッチングに手数料がかからない

			サンプル 数	知っている	知らない	無回答
全体			1537	28.4%	69.5%	2.1%
性・ 年齢	男性	20代	159	26.4%	73.0%	0.6%
		30代	459	24.2%	73.6%	2.2%
		40代	393	33.3%	64.9%	1.8%
		50代	215	27.4%	67.9%	4.7%
	女性	20代	101	27.7%	72.3%	0.0%
		30代	107	33.6%	66.4%	0.0%
		40代	78	33.3%	62.8%	3.8%
		50代	25	16.0%	80.0%	4.0%

(S A)

Q12 SQ4 投資信託に関する追加的情報源



サンプル数		1. 一般の新聞	2. マネー雑誌	3. 金融機関が発行しているパンフレット	4. 自分の取引金融機関に聞く	5. インターネット	6. 運営管理機関のホームページ	7. 運営管理機関のコールセンター	8. 会社の確定拠出年金担当窓口	9. 会社の同僚、上司	10. 家族・親類		
全体		1537	25.8%	17.9%	11.5%	6.0%	52.4%	18.9%	3.0%	11.3%	18.9%	9.5%	
性・年齢	男性	20代	159	31.4%	20.1%	8.2%	1.9%	62.9%	15.1%	2.5%	11.3%	20.1%	10.1%
		30代	459	28.1%	18.5%	6.8%	3.3%	54.0%	13.9%	2.0%	9.4%	21.4%	7.8%
		40代	393	26.0%	20.9%	12.5%	5.9%	60.6%	26.7%	3.3%	9.7%	16.5%	4.3%
		50代	215	25.1%	15.3%	14.9%	9.3%	40.0%	16.7%	3.7%	22.3%	14.0%	2.3%
	女性	20代	101	14.9%	11.9%	15.8%	5.0%	55.4%	17.8%	4.0%	12.9%	23.8%	25.7%
		30代	107	14.0%	15.0%	15.0%	11.2%	37.4%	21.5%	4.7%	5.6%	22.4%	25.2%
	40代	78	34.6%	17.9%	19.2%	12.8%	43.6%	21.8%	3.8%	9.0%	20.5%	19.2%	
	50代	25	16.0%	4.0%	16.0%	16.0%	16.0%	0.0%	4.0%	8.0%	16.0%	16.0%	
拠出残高	50万円未満	398	28.4%	19.6%	10.3%	3.5%	57.3%	19.3%	3.5%	11.1%	20.6%	15.3%	
	50～100万円未満	207	27.5%	19.8%	11.6%	7.7%	62.8%	23.7%	4.3%	13.5%	18.8%	7.2%	
	100～300万円未満	274	32.1%	23.7%	17.2%	7.7%	63.1%	24.5%	2.2%	11.3%	15.7%	4.7%	
	300～500万円未満	65	35.4%	20.0%	13.8%	4.6%	58.5%	18.5%	1.5%	12.3%	13.8%	6.2%	
	500万円以上	42	21.4%	16.7%	16.7%	9.5%	57.1%	28.6%	2.4%	11.9%	14.3%	0.0%	
資産運用タイプ	元本確保派	447	24.6%	11.0%	13.2%	7.4%	45.4%	20.1%	3.6%	16.8%	19.9%	9.8%	
	投資信託派	542	31.9%	27.3%	9.8%	4.6%	66.8%	23.1%	4.1%	6.1%	17.3%	7.7%	
	中間派	144	27.8%	20.1%	11.1%	2.8%	57.6%	20.8%	0.0%	9.7%	23.6%	10.4%	

11. 友人・知人	12. FP(ファイナンシャルプランナー)など専門家	13. その他	14. 相談先はない/どのように情報収集したらよいかわからない	無回答
13.9%	3.5%	1.3%	18.8%	2.7%
22.0%	2.5%	0.0%	15.7%	0.6%
13.1%	3.5%	1.3%	17.2%	3.5%
10.7%	3.3%	2.3%	16.0%	2.0%
6.5%	3.3%	0.9%	23.7%	3.7%
21.8%	5.0%	2.0%	23.8%	1.0%
19.6%	6.5%	0.0%	22.4%	1.9%
21.8%	2.6%	1.3%	17.9%	3.8%
12.0%	0.0%	0.0%	36.0%	12.0%
18.6%	3.0%	0.5%	15.6%	1.5%
13.0%	4.3%	2.9%	11.6%	1.9%
10.2%	4.4%	2.2%	13.1%	0.4%
4.6%	1.5%	0.0%	15.4%	4.6%
7.1%	2.4%	0.0%	11.9%	2.4%
14.1%	3.4%	1.6%	21.5%	1.8%
14.8%	3.7%	1.7%	11.4%	0.6%
13.2%	2.1%	0.7%	14.6%	3.5%

投資信託について追加的に情報収集しようとした場合、どこから情報を収集するかでは、全体では圧倒的にインターネットが多く、過半数の加入者が挙げている。他の情報源では、一般の新聞が4分の1で続き、他は2割を超えるものはなく低率にとどまっている。性・年齢別では、インターネットにおいて女性50代で低率となっていることが目立っている。一方、「相談先はない/どのように情報収集したらよいかわからない」で、同女性50代での比率が高くなっていることが注目される。

(MA)

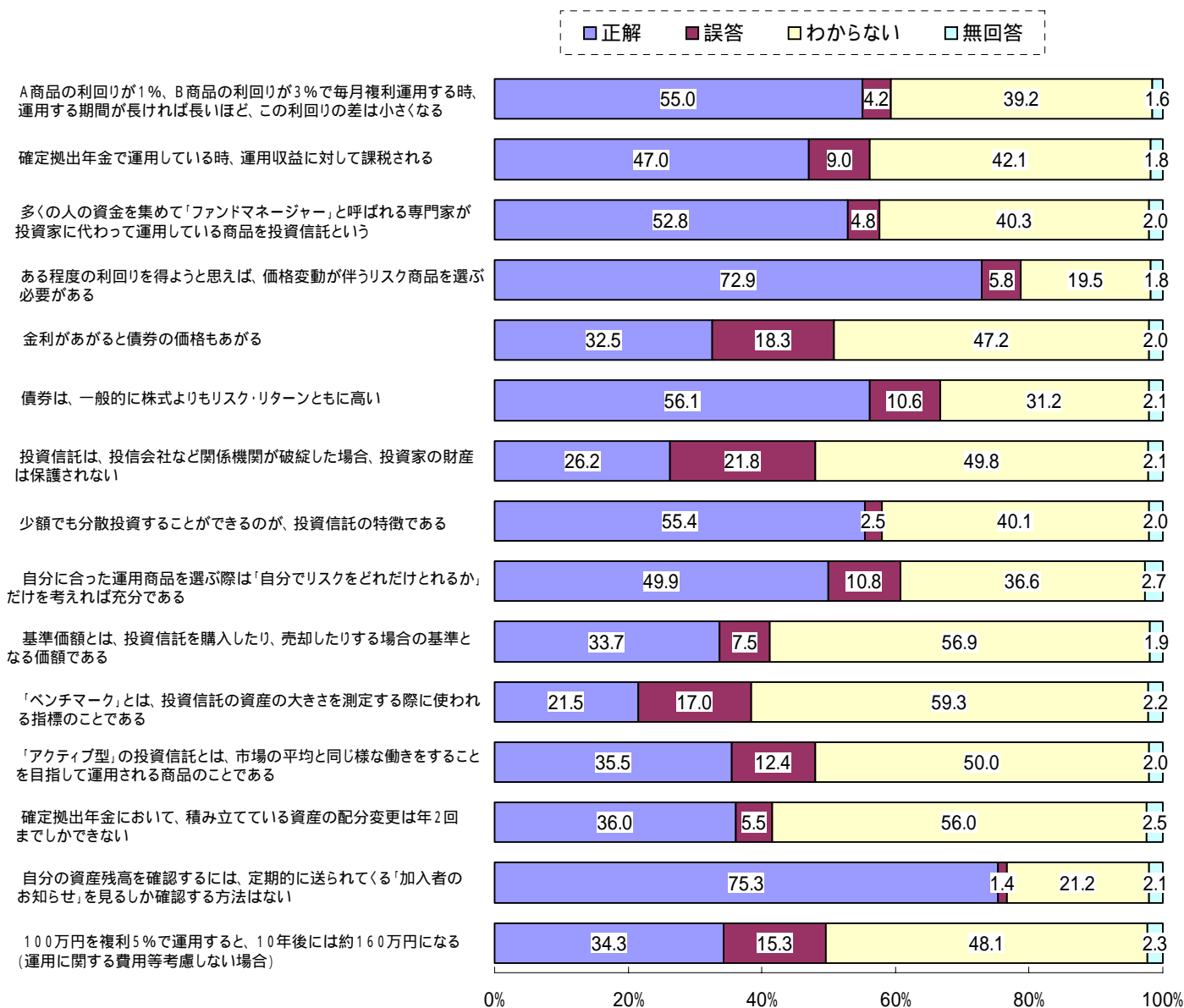
Q13 追加希望の投資信託商品

			サンプル数	1. 国内債券アクティブ投資信託	2. 国内株式アクティブ投資信託	3. 海外債券アクティブ投資信託	4. 海外株式アクティブ投資信託	5. J-REIT(日本国内を投資対象とした不動産投資信託)	6. G-REIT(海外を投資対象とした不動産投資信託)	7. コモディティ(石油、金、穀物などを対象とした投資信託)	8. 中国株投資信託・インド株投資信託など、新興地域を対象とした投資信託
全体			1537	6.4%	9.5%	7.5%	10.3%	6.8%	5.1%	15.7%	28.0%
性・年齢	男性	20代	159	7.5%	10.7%	10.1%	11.9%	13.2%	8.2%	20.1%	34.6%
		30代	459	8.3%	11.8%	7.6%	11.1%	7.4%	17.9%	27.9%	
		40代	393	4.1%	8.7%	7.4%	12.0%	6.9%	16.5%	34.9%	
		50代	215	7.0%	8.4%	7.4%	7.4%	4.7%	11.6%	23.3%	
	女性	20代	101	6.9%	7.9%	6.9%	8.9%	4.0%	5.0%	14.9%	20.8%
		30代	107	3.7%	5.6%	5.6%	8.4%	2.8%	2.8%	12.1%	21.5%
40代		78	6.4%	10.3%	6.4%	10.3%	6.4%	5.1%	11.5%	20.5%	
	50代	25	8.0%	4.0%	8.0%	0.0%	0.0%	4.0%	4.0%	0.0%	
拠出残高	50万円未満		398	7.5%	10.8%	10.6%	12.8%	8.0%	6.8%	21.4%	33.9%
	50～100万円未満		207	5.8%	7.7%	4.8%	10.6%	6.3%	4.3%	16.9%	32.4%
	100～300万円未満		274	7.7%	10.2%	9.9%	12.4%	9.1%	6.2%	22.3%	40.1%
	300～500万円未満		65	7.7%	13.8%	7.7%	13.8%	7.7%	1.5%	15.4%	35.4%
	500万円以上		42	4.8%	16.7%	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%	16.7%	40.5%
資産運用タイプ	元本確保派		447	5.8%	8.3%	4.9%	7.2%	2.9%	1.8%	8.5%	19.9%
	投資信託派		542	6.1%	11.4%	9.8%	14.6%	11.3%	9.4%	25.6%	46.3%
	中間派		144	9.0%	11.8%	11.1%	13.2%	6.3%	5.6%	23.6%	31.9%

9. 株券・債券に不動産などを加えた多資産型投資信託(バランス型投資信託)	10. SRI(社会責任投資)ファンド・エコファンド	11. ターゲットイヤー型ファンド	12. その他	13. 加えてほしい投資信託はない	無回答
12.8%	5.1%	3.5%	9.0%	21.5%	20.7%
10.7%	3.8%	5.0%	6.3%	22.6%	14.5%
11.1%	5.2%	4.4%	9.2%	20.7%	21.1%
14.0%	5.9%	3.1%	9.7%	17.8%	18.3%
13.0%	2.3%	2.8%	6.5%	27.4%	27.0%
17.8%	5.0%	1.0%	9.9%	24.8%	17.8%
12.1%	6.5%	3.7%	11.2%	21.5%	25.2%
14.1%	11.5%	2.6%	14.1%	20.5%	15.4%
12.0%	0.0%	4.0%	4.0%	28.0%	44.0%
13.3%	6.5%	4.3%	6.8%	21.9%	13.8%
11.1%	6.8%	4.8%	8.7%	24.6%	9.2%
20.4%	8.0%	4.0%	7.7%	19.0%	8.8%
15.4%	3.1%	6.2%	3.1%	24.6%	18.5%
14.3%	4.8%	0.0%	2.4%	19.0%	26.2%
12.3%	3.1%	2.5%	11.4%	32.7%	17.0%
16.6%	8.1%	5.7%	7.4%	15.1%	9.4%
14.6%	6.9%	3.5%	4.9%	18.8%	17.4%

確定拠出年金の運用商品として加えてほしい投資信託商品では、エマージングが最も多く、次いで、コモディティとなっている。資産運用タイプでは、投資信託派のエマージングの追加要望が高くなっていることが目立っている。

Q14 投資や運用に関する正誤問題



全体を通して15問のうち、50%以上の正答率を超えた設問は、6問で、資産運用に関する理解は、まだ、周知徹底されていないことが理解できる。

誤答率が最も高いは、加入者の投資信託に対するリスク・不安を象徴する項目とも言え、制度に対する周知徹底が投資信託への運用機会を高めることにつながる事がうかがわれる。

N=1537
(SA)

Q14 投資や運用に関する正誤問題

正解率

サンプル数		A商品の利回りが1%、B商品の利回りが3%で毎月複利運用する時、運用する期間が長ければ長いほど、この利回りの差は小さくなる	確定拠出年金で運用している時、運用収益に対して課税される	多くの人の資金を集めて「ファンドマネージャー」と呼ばれる専門家が投資家に代わって運用している商品を投資信託という	ある程度の利回りを得ようと思えば、価格変動が半リスク商品を選ぶ必要がある	金利がある債券の価格もあがる	債券は一般的に株式よりもリスク・リターンともに高い	投資信託は、投信会社など関係機関が破綻した場合、投資家の財産は保護されない	少額でも分散投資するのが、投資信託の特徴である	自分に合った運用商品を選ぶ際は「自分でリスクをどれだけ、考えれば充分である	基準価額とは、投資信託を購入したり、売却したりする場合の基準となる価額である	「ベンチマーク」とは、投資信託の資産の大きさを測定する際に使われる指標のことである	「アクティブ」の投資信託は市場の平均と異なる動きをすることを目指して運用される商品のことである	確定拠出年金において、積み立てている資産の割合変更は年2回までしかできない	自分の資産残高を確認するには、定期付の送られてくる「加入者のお知らせ」を確認する方法はない	100万円を福祉5%で運用すると、10年後に約160万円になる(運用に関する費用等考慮しない場合)		
全体		1537	55.0%	47.0%	52.8%	72.9%	32.5%	56.1%	26.2%	55.4%	49.9%	33.7%	21.5%	35.5%	36.0%	75.3%	34.3%	
性・年齢	男性	20代	159	51.6%	44.7%	57.2%	70.4%	30.2%	61.6%	25.8%	60.4%	57.2%	31.4%	19.5%	46.5%	36.5%	71.1%	34.6%
		30代	459	51.0%	44.0%	51.9%	70.8%	30.3%	55.1%	26.8%	54.9%	45.1%	29.0%	21.8%	36.3%	33.3%	69.9%	32.2%
		40代	393	64.1%	55.5%	58.5%	77.1%	42.7%	63.1%	31.0%	61.3%	52.7%	39.9%	25.4%	38.7%	37.4%	80.7%	41.5%
		50代	215	64.2%	43.7%	54.0%	71.2%	33.0%	56.7%	25.6%	53.0%	41.4%	36.7%	22.3%	27.0%	38.6%	74.4%	42.8%
	女性	20代	101	34.7%	37.6%	31.7%	70.3%	15.8%	32.7%	15.8%	39.6%	51.5%	28.7%	9.9%	27.7%	23.8%	73.3%	10.9%
		30代	107	40.2%	46.7%	43.9%	78.5%	21.5%	53.3%	25.2%	47.7%	60.7%	27.1%	19.6%	36.4%	43.9%	85.0%	21.5%
		40代	78	66.7%	52.6%	62.8%	75.6%	41.0%	52.6%	21.8%	62.8%	57.7%	46.2%	23.1%	39.7%	46.2%	80.8%	39.7%
		50代	25	40.0%	36.0%	36.0%	56.0%	12.0%	40.0%	8.0%	32.0%	44.0%	20.0%	8.0%	8.0%	24.0%	76.0%	16.0%
資産運用タイプ	元本確保派	447	51.7%	42.7%	51.2%	75.8%	28.9%	48.1%	21.5%	51.7%	47.0%	29.5%	14.1%	26.4%	31.5%	79.4%	30.2%	
	投資信託派	542	73.6%	66.4%	69.9%	85.4%	48.0%	78.4%	38.9%	71.8%	64.2%	47.8%	36.5%	56.1%	54.4%	90.0%	50.6%	
	中間派	144	59.0%	52.8%	58.3%	71.5%	31.9%	59.0%	21.5%	58.3%	55.6%	29.9%	16.7%	38.2%	31.3%	81.9%	39.6%	

投資や運用に関する正誤問題での正解率の一覧は、上表の通りである。
 全体的に性・年齢別では、女性の20代、50代での正答率が低くなっていることが目立っている。
 資産運用タイプでは、投資信託派の正解率が全項目で平均を上回って際立って高くなり、一方、元本確保派の正解率の低さが目立っている。つまり、投資や運用に関する知識がなければ、投資信託の運用行動も出来ないことを物語っている。